

果敢に
挑戦!

動き出した!

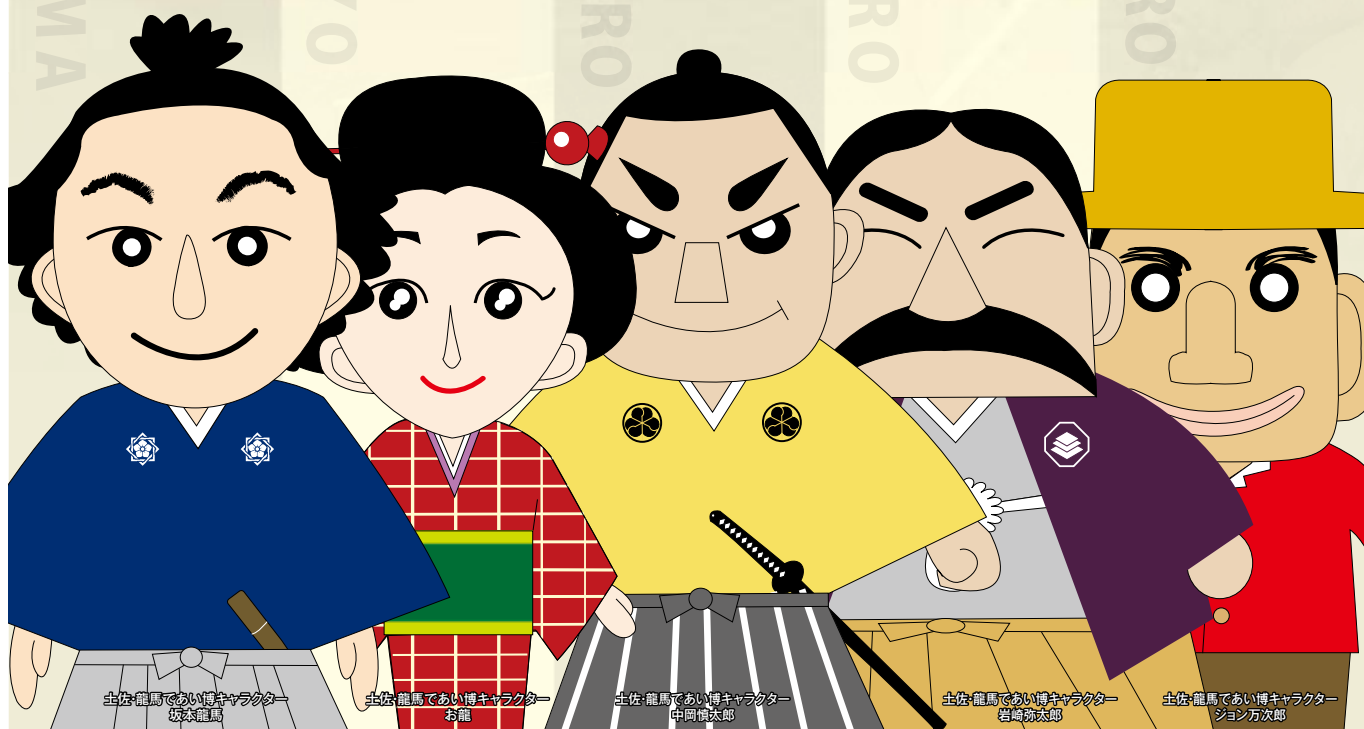
高知県 産業振興計画

みんなが主役
高知の元気発進プロジェクト

Ver.

2

PR版



主佐・龍馬であい博キャラクター
坂本龍馬

主佐・龍馬であい博キャラクター
お龍

主佐・龍馬であい博キャラクター
中岡慎太郎

主佐・龍馬であい博キャラクター
岩崎弥太郎

主佐・龍馬であい博キャラクター
ジョン万次郎

産業振興ことはじめ

この計画は、高知県の経済を根本から元気にするためのトータルプランです。県民が一丸となって同じ方向に力を合わせて進む旗印となるよう、生産から流通・販売までを見通し、産業どうしのつながりを考えてつくりました。

産業振興計画は、これまでの県の計画とはこんな点で違います。



産業振興計画の5つの特徴

- ① 産業ごとの縦割りの計画ではなく、実体経済に合わせて産業間の連携を重視したトータルプラン
- ② 生産面だけでなく、加工、流通、販売も合わせて支援（雇用・所得の確保に結び付ける）
- ③ 策定段階から多くの民間の方々が高参画（1500人以上）。地域のやる気を結集
- ④ 変化の激しい経済の動きに対応できるように、また新たなアイデアを盛り込めるように、毎年度改定
- ⑤ 計画の実行に向けて、予算措置や支援体制を充実、強化

1 高知県の経済



いま、高知県の経済ってどうなってるの？

● 一人当たり県民所得（平成19年度）
全国平均の約7割 211万円

全国や世界で活躍しているキラリと光る企業もあるけど、一人当たり県民所得など主な指標は最下位クラス。人口がどんどん減っているし、高齢化も進んでいる。何より若者の多くが県外へ出て行ってしまっているので、今何とかしないと将来もずっと元気がないままになってしまうかもしれないよ。



●人口が全国に15年先行して自然減

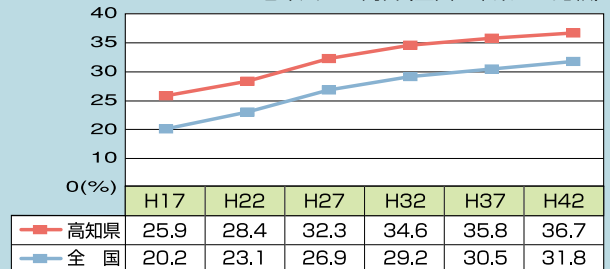
人口自然増減数(人)

	高知県	全国
S60	2,462	679,294
H2	-386	401,280
H7	-1,022	264,925
H16	-2,500	82,119
H17	-3,203	-21,266
H18	-2,912	8,224

出典：人口動態調査（厚生労働省）、人口移動調査（高知県）

●高齢化率の上昇も全国に10年先行

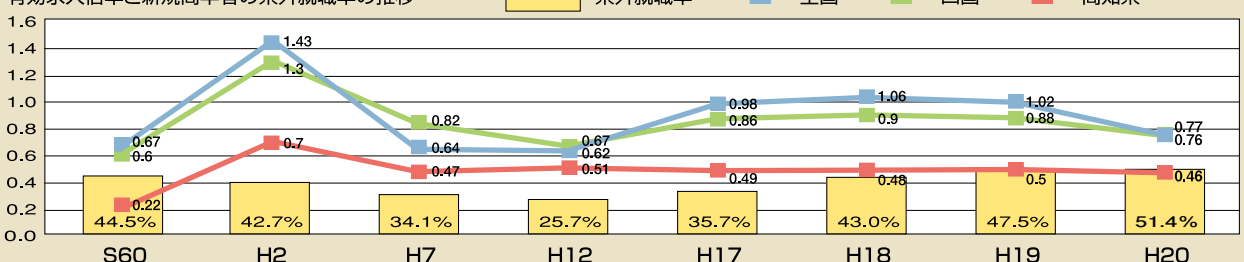
老年人口の割合（全国と本県との比較）



出典：日本の都道府県別将来推計人口（H19.5）、（国立社会保障・人口問題研究所）

●景気回復の波に乗れず、若者も流出

有効求人倍率と新規高卒者の県外就職率の推移



出典：高知労働局資料 ※有効求人倍率は年度平均

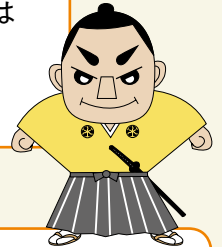
2 高知県を元気に



どうすれば、高知をもっと元気にできるの？

高知の底力はこんなもんじゃない！食べものや地域の資源など、全国に誇れるものはたくさんある。もっともっとやれるはず。

高知には“食”・“自然と歴史”・“人”という「強み」がある。これを生かそう！



● 高知の強み

食

“食べ物のおいしいところ”
全国トップクラス

- 大手旅行情報誌の宿泊旅行アンケート調査『地元ならではのおいしい食べ物が多かった』都道府県
平成 19 年 全国第 1 位
平成 20 年 全国第 2 位

自然と歴史

坂本龍馬、四万十川、
四国八十八ヶ所 など

- 年間日照時間『気象庁年報』
平成 18 年 全国第 1 位 (2,034 時間)
- 県土の森林面積の割合
全国第 1 位 (約 84%)

人

よさこい祭りに代表される
人々の活気、おもてなしの心

- 大手旅行情報誌の宿泊旅行アンケート調査『地元の人のホスピタリティを感じた』都道府県
平成 20 年 全国第 4 位
- 世界的シェアを誇るキラリと光る技術など



経済は構造的な問題を抱えているようだけど、高知にもいいところがたくさんあるわ。だから、計画では県経済が抱える 3 つの課題を特定し、それらに正面から取り組む改革の **3 つの基本方向** を示したのよ。

そして、1 年間実行する中で県民の皆さんからいただいたご意見を参考に、計画を改定してバージョンアップしたの。次のページからその内容を紹介するわよ。

● 計画の基本的な方向性と改定

高知県経済の 3 つの課題

- ① 人口の減少により縮小を続ける県内市場頼り
- ② 産業間の連携が弱い
- ③ 第一次産業の強みが強みでなくなりつつある



改革の基本方向

- ① 足下を固め、活力ある県外市場に打って出る
- ② 産業間連携の強化 (特に食品加工、観光)
- ③ 足腰を強め、新分野へ挑戦

本気で実行！

平成 21 年度

成果のきざしが見え始める！

- ・ 「地産外商」をはじめとする各産業分野
- ・ 県内各地での地域アクションプランの取り組み

5本の柱を中心に
計画を改定し実行！

平成 22 年度

果敢に挑戦！

高知県産業振興計画 ver.2

実行のさらなる加速化、そしてもう一段上のステップに挑戦！

1

高知の強みっていうけど、強みを生かしていくには、どんな方法があるかな。

2

まず、地域が元気になるように地域で作ったものを地域で使う「地産地消」が大事だよ。

ナルホド!

キーワードは「地産地消」

3

平成9年
1兆9,706億円

↓

平成19年
1兆5,932億円

(高知県の年間商品販売額)

だけど、高知県の商品販売額は減っているんだよね。県内で売るだけでは今より豊かにならないんじゃないの？

4

そのとおり！高知を元気にしていくには、地元で売るだけでなく、県外に売り出す「地産外商」*も重要。そのためには売れるものづくりが大事じゃ。

県外だけじゃない。「海外」にも目を向けよう！！

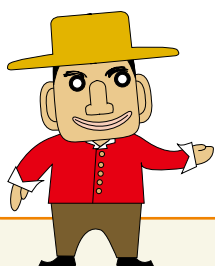
もうひとつのキーワード「地産外商」

*「地産外商」：地域の様々な資源を県外に売り出してお金（外貨）を稼ぐこと



昨年度は、県外への売り込みの機会が急拡大したんだよね。今年度はどうするの？

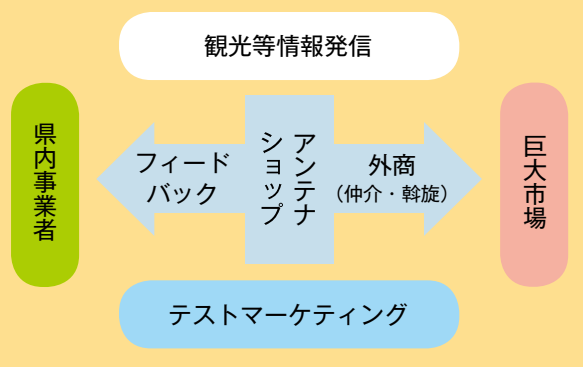
「龍馬伝」の追い風を受け、県外への売り込み機会が増えている今だからこそ、その機会を十分に生かさないといけないんだ！そのために「地産外商戦略の加速化」を改定の1つめの柱にしたよ。今年度は地産外商活動を本格的に展開するよ。新しいアンテナショップがオープンする首都圏はもちろん、関西や中部地区でも取り組みを加速させるよ！



改定の柱
1

地産外商戦略の加速化

- ① 新アンテナショップを拠点に首都圏での取り組みを加速化
関西や中部地区でも地産外商活動を加速化




- ② 外部人材登用による地産外商公社の体制強化
- ③ 商品の磨き上げを支援（補助金の創設等）
- ④ 本県が強みを持つ農水産物の外商加速化戦略構築
- ⑤ 生産管理の高度化支援を強化

▶ 詳しくは9ページをご覧ください


産業間の連携 (食品加工)

1




売れるものづくりって
いうけど、そのためには
何が必要なの？

品質の良さはもちろんだけど、買う人が
欲しいと思うような魅力的なものにして
いく必要があるんじゃ。
都市部には全国から商品が集まるから、
それに勝てるようにしないと。
デザインなどにも工夫がいるんじゃ。




2



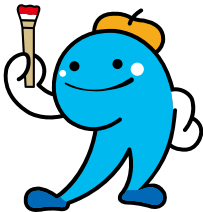
高知の野菜や魚は新鮮でとっ
てもおいしいから大丈夫だね。

確かに高知には良いものがたくさんあるけ
ど、遠くに運ぶとなると鮮度や費用の問題も
出てくる。都市部では近くで生産された新鮮
なものも多く出回っているんじゃ。
だから、素材そのものを磨く工夫も大事だけ
ど、加工して日持ちが良く、より価値の高い
商品にしていくことにも取り組んだらどう
じゃろう。



3

良い素材 + 工夫 = 売れる商品




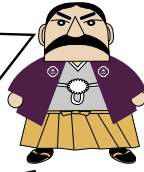
なるほど、商
品の魅力と価
値を高める工
夫がいるんだ
ね。

4

そのとおり！そのためには、産業どうし
のつながり（連携）が重要になってくる
んじゃ。
例えば野菜や魚を加工して、より価値を
高めていくこともそうした取り組みの
1つなんじゃ。

高知県は、他の県に比べてこれまでこうした分野の取り組
みが弱かったけど、産業間で連携して全力で取り組んでい
こう。

せ、せまい...


たしか昨年度は農産物や水産物の加工工場が県内で新增設されたんだよね。

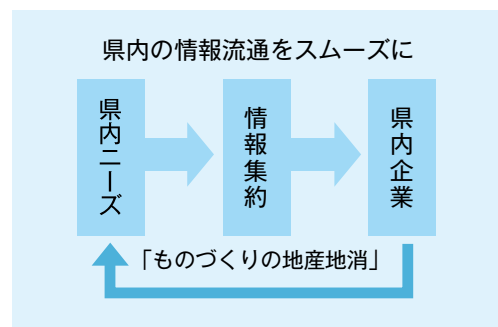
でも、県内で加工がもっとできるようにならないと。県内にお金を落と
して、県内産業の力を強めるため
には、工程をできる限り県内で行っ
ていく仕組みをつくらなくちゃいけ
ない。だから、『「ものづくりの
地産地消」※の促進』を改定の
2つめの柱にしたんじゃ。県内の
事業者どうしが協力してものづく
りが行えるように情報の流れをス
ムーズにしたり、県内
産業の技術力・商品開
発力などを高めてい
くんじゃ。



改定の柱

2

「ものづくりの地産地消」の促進



県内産業の技術力・商品開発力を高める

試作開発の支援（補助金の創設）

外部アドバイザーによる一貫した支援

適正表示についてのワンストップ支援

※「ものづくりの地産地消」：県内で必要とするものづくり（加工や機械設備の製造等）をできるだけ県内事業者どうして行うこと

詳しくは 11 ページをご覧ください

産業間の連携 (観光)

1

連携が大事なのは、ものづくりだけでなく、観光もだよ！観光は様々な業種がかかわって成り立っているんだよ。

そうなんだ！

2

観光客に地元のもの食べてもらう、地元の素材を使ったお土産を買ってもらうといったように、関連した業種がどんどんつながっていけば、県内で経済効果が広がっていくよ。

3

連携！

産業間で連携しあうことで大きな効果が生まれてくるんだね。

4

そのとおり！高知の海・山・川・お日さまは格別。食べ物のおいしさは、全国トップクラス！

今年は龍馬伝という追い風もある。観光客にたくさん来てもらって、みんなで高知の魅力をどんどん売り込んでいこう。

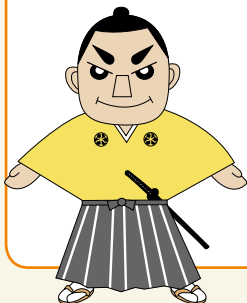


「龍馬博」にたくさんのお客さんが来てくれているみたいだね。よかった～。

高知には、龍馬以外にも人気のある歴史上の人物がたくさんいるよね。



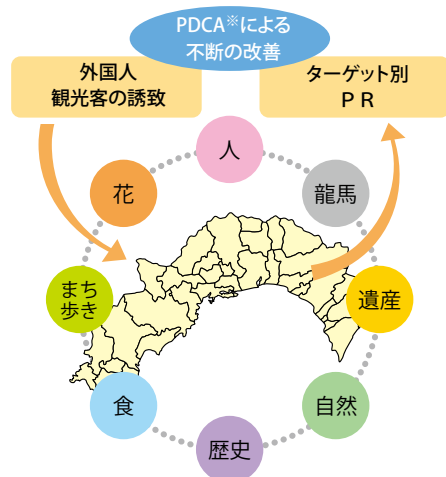
今年は「龍馬伝」や「龍馬博」などの追い風で、全国から多くの観光客が期待できるけど、来年以降もこの効果を持続させなきゃいけない。だから、『ポスト「龍馬博」の推進』を改定の3つめの柱にしたんだ。坂本龍馬の人気を生かして高知の強みである「歴史」をフル活用したPRをしていくよ。



改定の柱 3

ポスト「龍馬博」の推進

「龍馬博」での盛り上がりを生かして来年以降の誘客につなげる

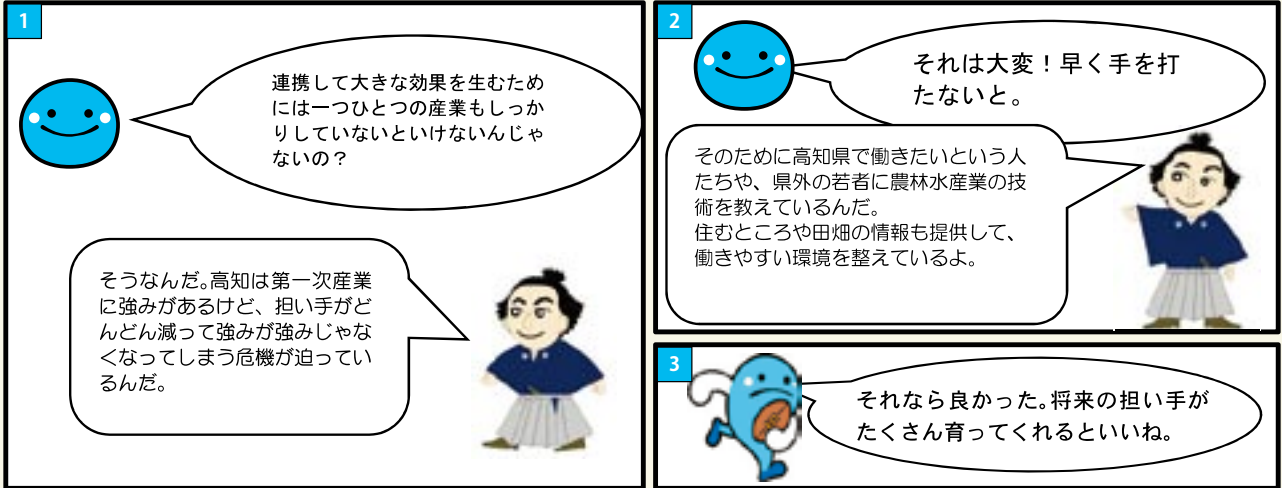


- 1 400万人観光推進チームによるPDCAの継続実施と今後の振興策への活用
- 2 龍馬人気を生かしつつ、さらに拡がりを持たせた観光PR、プロモーションを展開
- 3 オフシーズンにおける観光入込客の底上げに挑戦
- 4 東部、中央部、西部の広域ブロックごとに1泊以上滞在できる周遊プランを積極提案
- 5 外国人観光客の積極的な誘致活動を展開

▶ 詳しくは 13 ページをご覧ください

※「PDCA」：計画を立て(Plan)、実行し(Do)、その評価(Check)にもとづいて改善(Action)を行う、という工程を継続的に繰り返す仕組みのこと

担い手の確保

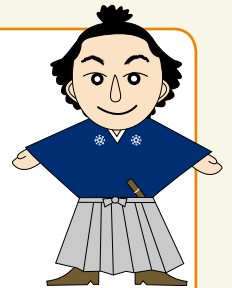


昨年度は各地域での取り組みが一定進んだし、アイデアも増えてきたって聞いたよ。

地域の取り組みの中には、芽が出始めたものもあるけど、もっともっと伸ばしていかないといけないわ。地域の取り組みをさらなる成功に導き、地域自体が力を付けていくためには、地域の産業を支える人づくりや、やる気を高める取り組みが必要。だから、「**地域の取り組みのステップアップ推進**」が改定の4つめの柱なの。地域の方々のアイデアや芽出しの取り組みがビジネスに、そして産業につながるように、研修制度や助成制度で応援するわよ。



地域の産業を支えていくには、担い手がまだまだ足りない。また、地域の中心となって産業を引っ張っていくリーダーがいないと、新しいビジネスは生まれにくい。だから、「**地域産業を創造・リードする人材の育成・確保**」を改定の5つめの柱にしたんだ。自分で新しいビジネス展開につなげられる人や農村のリーダーを増やしていくよ。



改定の柱

4

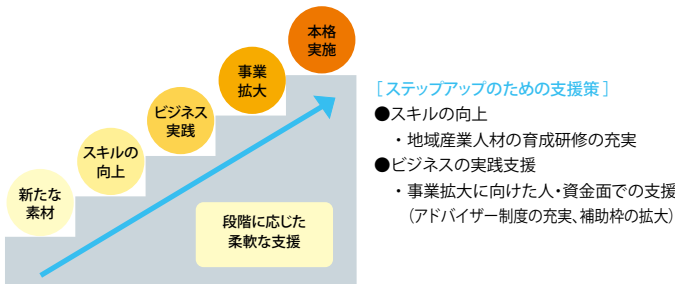
地域の取り組みのステップアップ推進

改定の柱

5

地域産業を創造・リードする人材の育成・確保

地域アクションプランへの位置付けを目指す取り組み(ステップアッププラン)を支援

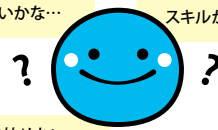


目指せ! 弥太郎 商人(あきんど)塾

▶ ビジネスの基礎から実践まで、一貫した研修

地元の素材を使い
たいけど、どんな商品をつくらばいいかな…

自分たちの商品を
売り込んでいきたいけど
スキルがまだまだ…



何か事業を始めたいけど、何をすれば……

こんなビジネスに関する疑問や
悩みにお応えします。

農村における、自ら企画・行動できるリーダーの育成

詳しくは 15 ページをご覧ください

3 計画の構成



ところで計画はどんな内容からできているの？

1,500人を超える方々の参加によってできました。



計画はこんなふうになっています。

農業・林業・水産業・商工業・観光などの成長戦略と、238の取り組みを盛り込んだ地域アクションプランからできているんだよ。



高知県産業振興計画

総論

- ◆本県の強みや弱みを整理(SWOT分析)
- ◆強みを生かす観点からの3つの改革の方向

344施策
くわしくは17ページへ

238事業
くわしくは21ページへ

産業成長戦略

- ◆5つの産業分野及びこれらをつなぐ連携テーマ
- ◆これからの対策をいつ、どのような形で実施するのか明確化

農業 林業 水産業 商工業 観光

- ①地産地消・地産外商の推進
- ②産業間連携の強化 ・食品加工の推進
・観光の戦略的展開 等
- ③人材育成・担い手確保

具体化

戦略化

地域アクションプラン

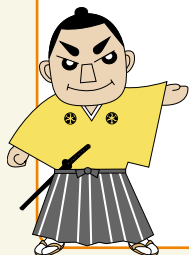
- ◆7地域ごとに産業成長戦略に沿って地域が目指す産業の姿やそこで進める具体的な取り組み
- ◆地域からの発案で提案された取り組みと産業成長戦略を地域で具現化する取り組み



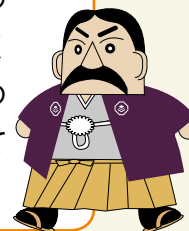
地域の取り組みが238事業もあるの!? 地域で広がるといいね。

そうなんだ。でもこれだけじゃないよ。みんなのアイデアをどんどん取り入れてもっともっと広げていくよ。

そのために、支援する体制も予算も用意したし、必要ならもっと充実していくよ。



こうしたプランの取り組みが大きく広がって、地域の基幹産業に育ってほしいのう。



具体的な支援策

- 1 アドバイザーの派遣
- 2 技術開発の支援
- 3 設備投資の支援
- 4 売り込みの応援 等

この計画の方向に沿って、産業振興に取り組めば、高知県の経済は元気になるぜよ!!



平成22年度産業振興計画関連予算(当初) 132億円(総合補助金 12.5億円など)
産業振興推進本部を設置して、計画の実行を総合的に支援。各地域に地域産業振興監を配置

4 県民運動へ

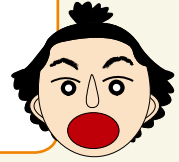


そうか!良かった。じゃ、がんばってね。

ちょっと
待った!!

ここからが大事なところ。もちろん県庁もがんばる。だけど、この計画を成功させて、高知県の経済を元気にするためには、生産者・企業・地域団体※・市町村をはじめ、県民みんなで取り組むことが肝心なんだよ。

※農協、森林組合、漁協など



まずは、「目指せ!弥太郎 商人(あきんど)塾」などの研修や交流の場に参加してみよう!



それはいいね!だけど、身の回りでもできることがあるんじゃないの?

いろんな形で、産業の振興に参加できるよ。たとえば…。

東京の友達や親戚に銀座のアンテナショップを紹介!

県外から来た観光客のみなさんに道案内する

高知のいい物を見つけたらツイッターやブログで友達に情報発信!

観光案内のボランティアをして観光に来たお客様をおもてなし

家を建てる時には県産の木を使う

県外の人に高知のおいしいもの、素敵なものを贈る

高知市の新京橋プラザにオープンした、アンテナショップ「てんこす」でお買いもの

観光客のみなさんに喜んでもらえるように、観光スポットをきれいに清掃

夏休みには友達や親戚を高知に呼んでくる

地域の観光イベントに参加!

買い物の時には県内産のものを選ぶ

お料理の腕をふるって地元の物を使ったおいしいメニューを開発!

高知の食材を使うレストランでお食事

他にもたくさんありますよ!

みなさんの身の回りにも、気軽にできることがたくさんあります。
みんなで力を合わせて、高知を元気に盛り上げていきましょう。

課題 1

人口の減少により縮小を続ける県内市場頼り

人口の減少と高齢化によって県内の購買力は小さくなっています。活力のある県外・海外にモノを売って所得の向上を図っていかねばなりません。その取り組みが十分ではありません。

基本方向

足下を固め、活力ある県外市場に打って出る

まずは、地産地消を徹底して県内産業の力をつけ、さらに、県外・海外に向けて地産外商を強力に推進していきます。
※「地産外商」：地域の様々な資源を県外に売り出してお金（外貨）を稼ぐこと

目指す方向

①「地産地消」の徹底

- ◆地元で作ったものを地元で消費することで、生産地の力を強めます。
- ◆ものづくりをできるだけ県内事業者どうして行います。例えば、加工など付加価値を生み出す工程を県内で行うことで、県内産業の力を強めます。（ものづくりの地産地消）

②「地産外商」の推進

- ◆高知の強みを磨き上げ、首都圏、近畿圏など、より大きな市場へ売り出していきます。

③海外への「地産外商」に挑戦

- ◆将来を見ずえて輸出の振興を図るため、海外での販路開拓に意欲を持つ企業を積極的に支援します。

取り組み

■地域資源の洗い出し

- 限られた地域のみで流通しているものや、これまで活用されていなかった産品を官民で掘り起こし



■商品づくり・加工 ブラッシュアップ

- マーケットイン（消費者の目線）の発想による売れるものづくりのため、アドバイザーやテスト販売の場を活用
- ものづくりの地産地消を進めるため、県内事業者間の交流、設備投資を支援



■販路開拓・販売拡大

<国内での展開>

- 地域での様々な販売拠点の拡大・機能強化
- 首都圏におけるアンテナショップなど巨大なマーケットでの新たなセールス拠点の構築
- 近畿圏における県産品販売ネットワークの一層の強化
- 高知の観光・物産をまるごと売り込むポータルサイトの構築

<海外での展開>

- 海外事務所の情報収集機能の強化
- 貿易の専門家や商社のもつ情報・ネットワークの活用による「強力なセールス活動」の推進
- これから海外での販路開拓を目指す県内企業を専門家がきめ細かく支援

実行元年(H21)成果のきざし

★「売れる商品」に向けた支援体制の充実

- アドバイザーによる支援（39事業、259回）
 - ・特産品を活用した商品開発、試作品の提案など
- パッケージデザインの作成・改善への支援（44企業）など

★県内での取り組み

- 高知市内でのアンテナショップ開設
 - ・H22.2.19 新京橋プラザにオープン

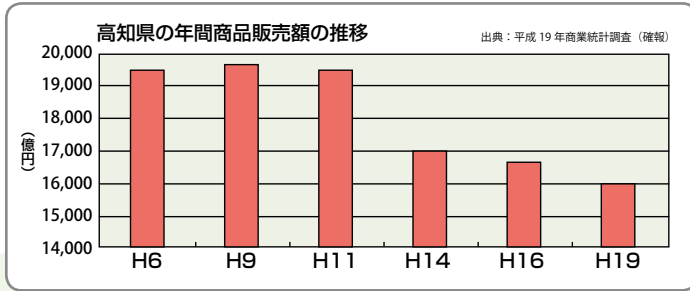
★そして県外へ

- 地産外商公社の設立
- 県外での売り込み機会の急拡大
 - ・H20:13件→H21:72件（5.5倍）
 - ⇒商談成立 146件、商談中 372件
- 大手コンビニエンスストアと包括協定
 - ・高知県産品を用いた弁当の販売等
- 新しい首都圏アンテナショップ
 - ・銀座1丁目にオープン予定

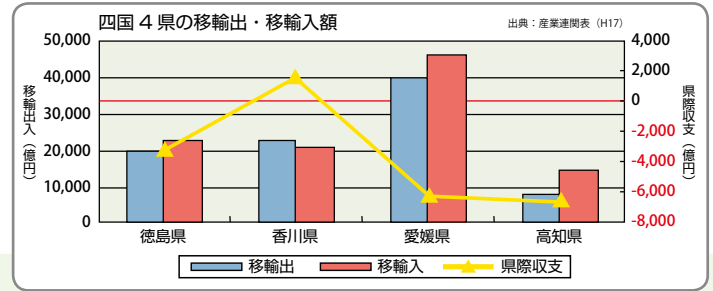
★さらに海外へ

- 貿易促進コーディネーター配置（4名）
- 上海の高級スーパーで常設売場設置
- シンガポール伊勢丹で6品目定番化。（ユズ製品、菓子類など）
- 香港商談会で即日12品目成約、後日さらに23品目成約。（ユズ製品、酒類、麺類など）

●高知県の年間商品販売額は大きく減少



●県内市場は県外資本に食い込まれている状況 (H17)



Ver.2
改定の柱

1

地産外商戦略の加速化

～県経済の活性化に一層つながる地産外商に～

ねらう

県外・海外への急速な販路開拓、販売拡大の機会を十分に生かす

- マーケットイン（消費者の目線）の考え方による商品の魅力の向上
- 需要に対応できるだけの安定した供給体制づくり
- エリア別の外商機会の開拓
- もう一段高度な生産管理への取り組み

今後の重点的な取り組み

○首都圏に新アンテナショップがオープン

⇒販売の拠点にとどまらず、業務筋（量販店などの小売店や卸業者、料理店など）を対象とする外商活動を基軸として、県産品の販路開拓と販売拡大に挑戦します。

○関西・中部地区における地産外商の加速化

⇒これまでの取り組みを基礎に、さらにワンランクアップを目指します。

○地産外商公社の体制強化

⇒外商活動の責任者に外部人材を登用し、売り手へのアドバイス、フィードバックをさらに充実させます。

○商品の磨き上げのための補助金を創設

⇒首都圏新アンテナショップにおけるテストマーケティング（要申込）を通じて把握した市場ニーズに基づく磨き上げを支援します。

○高知県が強みを持つ農水産物（例：ナス、ニラ、ピーマン、ショウガ）につき、外商加速化戦略の構築

⇒生産、加工、流通、販売までをトータルに検討し、戦略を実践します。

○生産管理の高度化に向けた支援体制の強化

[例] 外商活動に必要な高度な衛生管理の普及に向けて、集合研修の機会及び専門家による個別指導をさらに充実させます。

●例えばこんなとき・・・



素晴らしい商品があるんだ。大きな市場で通用するか試してみたいな。



首都圏アンテナショップで取り扱う商品は、引き続き応募を受け付けています。

さらに、一定の審査を経た商品は、詳細なフィードバックや、市場の評価を踏まえた商品の磨き上げに必要な費用の一部支援を受けることができます。お問い合わせ：地産地消・外商課 TEL:088-823-9753

課題 2 その 1

産業間の連携が弱い

魅力ある商品づくりを行うために必要な、加工等の取り組みがまだまだ不十分です。
第一次産業の生み出す経済効果が他産業に十分に行き渡っていません。

基本方向

産業間連携の強化

全国や海外との競争に打ち勝つため、農林水産業と加工業など産業どうしの結び付きを強め、より価値の高い、魅力あるものづくりを進めます。

目指す方向

① 産業間の連携による高付加価値化の推進

◆ 産業間で連携して一次産品を加工するなどといった取り組みを行うことにより、首都圏・近畿圏などの巨大マーケットでも通用するように商品の魅力アップを図り、また、本県の不利な条件（大規模市場から遠く物流コストがかかる等）を補っていきます。

② 第一次産業の強みを生かした食品加工の推進

◆ 農商工連携により、食品加工分野を伸ばす取り組みを進めます。

取り組み

■ 産業技術人材の育成

○ 工業技術センター等において研修・技術指導の機会を設け、ものづくりを技術面、人材育成面から支援

■ 食品加工の推進

- ① 地産地消・地産外商に向けて、原材料集めから流通、販売まで一貫した支援
- 地域アクションプランで 57 件の取り組み（シイラ、ウルメ、新高ナシ、土佐文旦の加工など）
- ② 設備投資を支援

★ 生産管理の高度化（衛生管理の向上を含む）

- 食品衛生、食品表示の研修（3 回、210 名）
- 生産管理に関する個別指導（延べ 46 回）
- 業種ごとの目標管理マニュアルを作成（20 タイプ）
- HACCP 基礎研修の開催

実行元年(H21)成果のきざし

★ 産業を支える人材育成

- 工業技術センターの技術研修
H21 734 人（H20 の約 10 倍）
⇒ 企業人材のレベルアップ

★ 「売れる商品」に向けた支援体制の充実

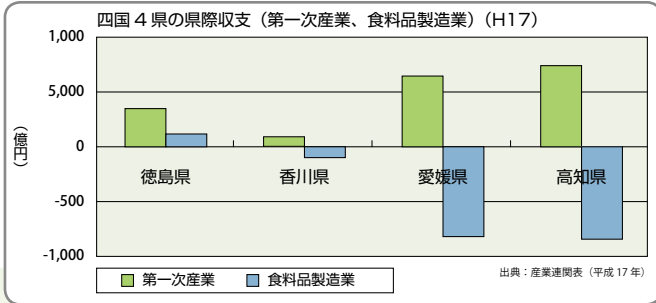
- 新商品開発の技術支援
- 工業技術センターに食品加工特別技術支援員を新たに配置。56 社に支援（10 件の事業化または事業化見込み）

★ 全国的に著名なスーパーバイザーによる販路拡大への協力

- メディア活用による高知の食材紹介
- コンビニとの提携による県産品を使用した商品開発
- 料理人や雑誌関係者等を対象に試食会や講習会を開催

総合補助金の活用などにより食品加工の取り組みに続々と着手（P21～）

●強みのある第一次産業と他産業とのつながりが弱い



第一次産業に関連が深く、その強みを最も生かせると考えられる食料品製造業の分野における県際収支が、大幅な移輸入超過（赤字）となっています。

Ver.2
改定の柱
2

「ものづくりの地産地消」の促進

～県内で所得を生み、県内産業の力を強めるように～

※「ものづくりの地産地消」：県内で必要とするものづくり（加工や機械設備の製造等）をできるだけ県内事業者どうしで行うこと

ねらい

県内で加工・製造工程を行うことで、県内にお金を落とし
県内産業の力を強める

⇒機械設備や、食品加工などの付加価値を高める工程を県内で行う仕組みづくりの推進

今後の重点的な取り組み

■県内での情報の流れをスムーズに

- 県内の受発注につながる情報を集約し、関連団体に提供
 - 県内企業データベースの構築
- 県内企業の情報入手を容易にし、
県内事業者どうしの成約につなげます。

■県内産業の技術力・商品開発力の向上

- 県内企業の試作品開発を支援する補助金を創設
- 外部人材を活用し、加工食品の商品開発力・プロモーション力を強化
⇒原料の生産から県内の原料を活用した新たな加工食品の開発、販売展開までを一貫して支援します。
- 緊急に対応が必要な品目につき、大学と連携し新たな加工需要の創出を目指す
⇒産地維持や供給過剰といった課題を抱える品目（例：ユズ、文旦、土佐茶、土佐和牛）について大学や企業との連携により、アイデア、商品開発、プロモーション展開を産地・企業に提案し、新たな加工需要の創出を目指します。
- 農水産物（下級品や供給過剰商品など）の付加価値の向上
⇒全国的な展開力（商品開発・販売）を持つ企業とのタイアップにより、下級品や供給過剰商品などの需給バランスを保ち、価格維持と加工品の創出を目指します。
- 適正表示についてワンストップの支援を実施
⇒商品表示に関するトラブルを未然に防げるようにします。

●例えばこんなとき・・・

間伐材で小物を作って売り出したいけど、商品化を相談できるところが近くにないかな。

加工や機械設備に関するニーズを集めて県内製造業者への情報提供をします。産業振興推進地域本部(裏表紙参照)や産業振興センター(TEL:088-845-6600)に情報をお寄せください。



商品表示の規制が複雑でよくわからないなあ。返品トラブルが心配だな。

食品表示の専門家がアドバイスします。ぜひ、ご相談ください。【6月以降実施予定】お問い合わせ：食品産業協議会 TEL:088-855-5634



ショウガの加工機械が発注されるようなので取り組んでみたいけど、機械の開発も必要だし、採算がとれるかな。

県内での需要が見込まれ、県内の他地域への波及効果が高いものや、汎用性があり、今後の新たな開発への足掛かりがあると認められるものなどには試作品の開発に資金的な助成を行います。お問い合わせ：工業振興課 TEL:088-823-9724



課題 2 その 2

産業間の連携が弱い

観光産業の生み出す経済効果が他産業に十分に行き渡っていません。

基本方向

産業間連携の強化

多くの産業がうろうおう観光を積極的に進めます。

目指す方向

すそ野の広い観光産業の戦略的展開

◆滞在型・体験型観光を戦略的に展開して、400万人観光の実現、1,000億円産業への飛躍を目指します。

取り組み

■観光の推進

①滞在型・体験型観光の推進

- 「花・人・土佐であい博」の取り組みをステップアップさせ、さらにはそれらを広域でつなぎ、観光商品としての魅力を高める
- 地域の特色ある土産物づくりを進め、観光消費の拡大を目指す
- 地域アクションプランで60件の取り組み

②二次交通の整備

- 点在する観光スポットを結び付け、魅力ある周遊ルートをつくりあげる

③土佐・龍馬であい博

- 「龍馬伝」の放送をとらえて観光ビッグバンへつなげる

実行元年(H21)成果のきざし

★プロ（旅行会社など）向けの宣伝(主な例)

- エージェント向けのプロモーション活動の展開、モニターツアーの実施 ⇒ 100を超える旅行商品

★専門雑誌等による広報(主な例)

- ハイウェイマガジン、生活情報誌、航空機内誌などによるPR

★外国人観光客の誘致(主な例)

- 韓国のパワーブロガーを招致し、韓国において高知の情報を発信
- 韓国の航空会社と包括協定の締結

★一般観光客向けの宣伝(主な例)

- PRキャラバンが全国各地を周回
- ラッピングバス、ラッピング列車、ラッピングジェットの実行によるPR
- 大都市のイベントでのPRなど

★県内の観光地を結ぶ交通手段(二次交通)の整備(主な例)

- 「MY遊バス」毎日運行
- ガイド付周遊観光バス(東部、高知市周辺)
- 駅から観タクン(JR主要駅等から観光地周遊プラン)
- 周遊観光タクシー
- 土佐清水サテライト会場 無料送迎タクシー

★観光資源の磨き上げ(主な例)

- 中岡慎太郎館(北川村)、森林鉄道遺産(中芸地域)、観光遊覧船の追加導入(高知市)、観光案内板の整備(25市町村、211カ所)、フォトスポット等景観の整備(22市町村、41カ所)

★「おもてなしの心」の育成(主な例)

- 接客技術が優れ、ワンランク上の観光知識を有する「観光ガイドタクシー」認定
- 観光施設、宿泊施設を対象としたマナー講習の実施

「龍馬伝」を追い風にPRも功を奏し……

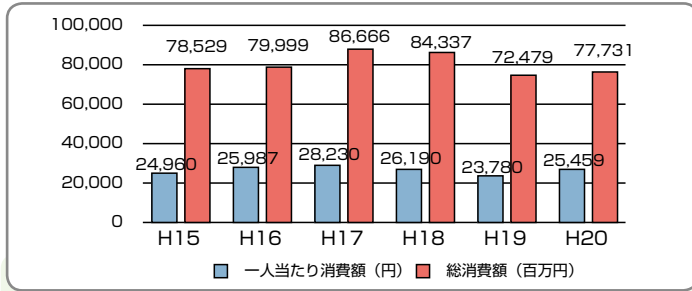
◎延べ宿泊者数が増加(H22.1~3、前年同期比)

主要旅館・ホテル ⇒ 全体で **16.7%アップ**
【日本銀行高知支店調べ】

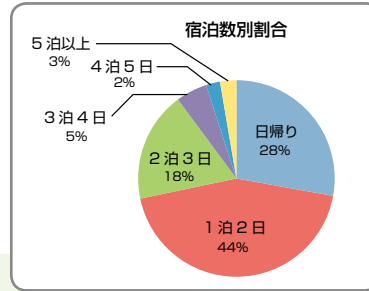
◎観光施設入込客数も増加(H22.1~3、前年同期比)

主要観光施設(14施設) ⇒ 全体で **53.7%アップ**

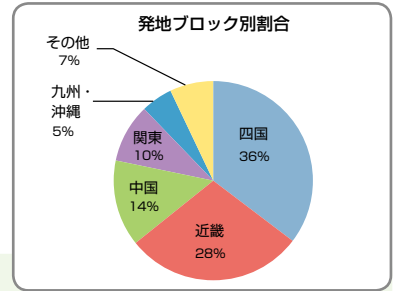
●伸びない観光消費額



●日帰りと一泊で75%



●近隣地頼みの入込み



出典：H20 高知県県外観光客入込動態調査

Ver.2
改定の柱
3

ポスト「龍馬博」の推進 ～ 400万人観光の実現のために～

ねらい

龍馬博での盛り上がりを継続して、誘客に生かす

今年は「龍馬伝」「龍馬博」の追い風により、全国から多くの観光客が期待できるが、この効果を来年以降も持続させ、高知県の観光の底上げにつなげていくことが必要

今後の重点的な取り組み

- **400万人観光推進チームによる現状分析(チェック)と、それを生かした取り組み(アクション)の強化**
⇒現在「龍馬伝」の放送を契機に本県を訪れている観光客の周遊状況や満足度などを調査・分析し、現場へのフィードバックを継続することで、今後の振興策に生かしていきます。
- **龍馬人気を生かし、さらに広がりを持たせた観光PR、プロモーションの展開**
⇒「龍馬伝」の放送により、認知度がさらに高まった坂本龍馬を今後も本県のPRに生かしつつ、その他全国に誇れる「土佐の歴史」をフルに活用した観光PRやプロモーションを行っていきます。
- **オフシーズンにおける観光入込客の底上げに挑戦**
⇒入込客が減少する時期に、「南国高知」の強み・魅力を生かし、「食」、「花」、「まちあるき」などをテーマにした誘客策に取り組みます。
- **広域ブロック(東部・中央部・西部)ごとに一泊以上滞在できる観光地づくりを推進**
⇒地域に埋もれた観光資源の発掘や磨き上げにより、一泊二日以上滞在が可能な観光エリアをつくりあげ、具体的な周遊プランを大手旅行エージェントや旅行雑誌出版社へ提案していきます。
- **外国人観光客の積極的な誘致活動を展開**
⇒東アジアをターゲットとして、チャーター便の積極的な誘致や観光地としての高知の認知度を高めるプロモーションを展開していきます。



官民あげた組織体制で「龍馬博」を成功させ、ポスト「龍馬博」への展開

●例えばこんなとき・・・



県内の観光地に行ったけど、こうすればもっと良くなるのに……

ぜひ、ご意見をお寄せください。改善すべき点は、「400万人観光推進チーム」が現場へフィードバックします。
お問い合わせ：観光政策課 TEL 088-823-9606



今年は「龍馬博」で盛り上がっているけれど、来年はどうするのかな……



高知の強みである「歴史」や「食」を生かした旅行商品づくりやオフシーズンも意識した新たな誘客イベントを実施します。県民の皆さんも一緒に「おもてなしの心」で高知県の観光を盛り上げていきましょう！



課題 3

第一次産業の強みが強みでなくなりつつある

農業などの全国的に見て比較的に優位にある分野でも、ここ 10 年で就業者数が約 2 割減少するなど、担い手が不足はじめています。また、就業者の高齢化が進んでいます。このままでは、本県の強みが強みでなくなってしまいます。



基本方向

足腰を強め、新分野へ挑戦

農林水産業の生産地の力を強め、担い手を増やします。あわせて中山間地域のビジネスや、新たな強みとなる産業を創りだします。

目指す方向

①生産地の足腰の強化と担い手の育成

- ◆強みのある第一次産業の維持・強化のために県内の生産地で生産者の結び付きを強め、力をあわせて競争力をつけていきます。
- ◆県内の若者や県外から高知へ帰って来たい人などに、第一次産業の新たな担い手として、スムーズに引き継いでいけるように、きめ細かくサポートします。

②中山間地域の産業づくり～地域アクションプランの新たな取り組みの創出～

- ◆いろいろな取り組みを小さなビジネスや産業につなげることで、所得を安定させて安心して中山間地域で暮らせるようにします。

③新産業の創出（成長が期待できる分野：食品、天然素材、環境、健康福祉）

- ◆成長性が見込める分野で、ものづくりの技術と素材の良さを生かして、全国にも通用する産業を新しく創っていきます。

取り組み

■第一次産業の生産地の強化

- 学び教えあう仕組みづくり
- 「森の工場」による効率的な生産システムの構築
- 「土佐の魚」の付加価値向上を支援

■担い手の育成・確保

- 新規就業促進への支援
 - ・移住コンシェルジュ（総合案内人）がワンストップで県外からの移住を促進
 - ・研修、住居、生産手段の確保をパッケージ化した就業支援
 - ・受け皿となる JA 出資型法人の設立をサポート

■ステップアップを目指したビジネス支援

- 地域資源を活かした小規模ビジネスから新事業展開、新分野進出ビジネスへの総合的な支援

■成長が期待できる新たな分野の育成

- 成長が期待される分野（食品・天然素材・環境・健康福祉）について、官民協同で研究会を設置し、新たな産業分野の育成を支援
 - ・研究会での会員企業の交流会を促進し、参加者間の連携を推進
 - ・工業技術センターや紙産業技術センターなどと連携を図り、最新の市場情報などをテーマにした各種セミナーの開催や専門家の効果的な派遣
 - ・素材生産者と加工業者のマッチングを実施
 - ・研究会で認定を受けた事業化プランは、ハード・ソフト両面からの補助金により支援
- まんがなどのコンテンツを活用した新しい産業づくり
 - ・官民参加のコンソーシアム方式で、まんがなどを生かした新しいビジネスを推進

実行元年(H21)成果のきざし

★農業者の技術向上

- 学び教えあう場を設置（170ヶ所）
- ⇒安芸のナス出荷量：17%増（JA 集出荷場ベース）

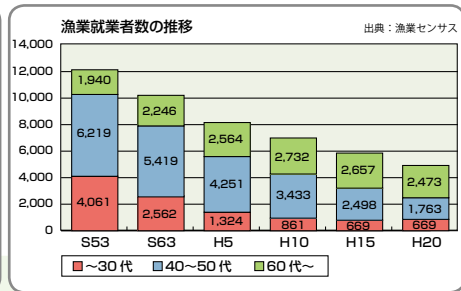
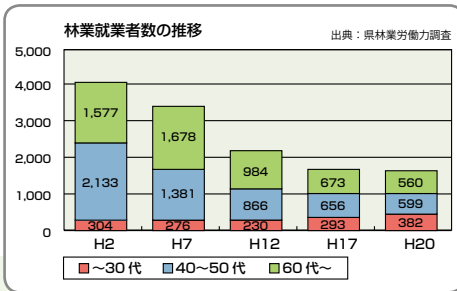
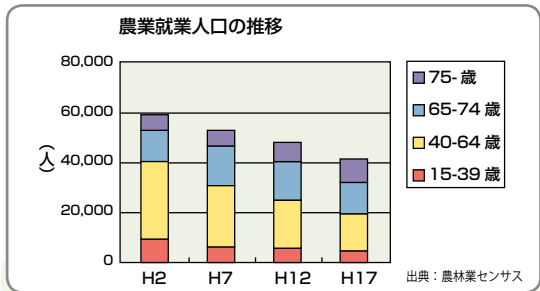
★担い手の確保

- 移住相談会を積極的に開催、相談件数が増加（250件→340件）
- 移住コンシェルジュを3名配置
- クラインガルテン（滞在型市民農園）の開設
- 新たな担い手が着実に増加
- ⇒新規就農者：114名→161名

★潜在力のある分野への重点的支援「企業研究会」

- 成長が期待される4分野（食品、天然素材、環境、健康福祉）を重点的に支援 ⇒ 160社が参加、4件の事業化プラン認定、22年度は40件を目標に

●担い手の確保が大きな課題



Ver.2
改定の柱
4,5

地域の取り組みのステップアップ推進

地域産業を創造・リードする人材の育成・確保

ねんこ

地域の思いや取り組みをビジネスへ、そして産業へ

- 地域の取り組みを成功に導き、地域自体が力をつけるためには、地域の産業を支える中核的な人材の養成が不可欠
- やる気を後押しし、新たなビジネスへとステップアップを目指す取り組みに対する支援が必要

地域の新たな産業の芽を育てる人づくり

- 本県の産業を継続的に底上げしていくためには、財政的な支援と併せて、地域で中核となって、産業をリードしていく人材が必要
- 世論調査においても人材育成が産業振興計画の推進のための充実すべき県の施策の1位に
- 第一次産業の新たな担い手は徐々に増加しているが、本県の強みを支えていくためには、さらなる育成・確保が必要

今後の重点的な取り組み

■地域の取り組みのステップアップ推進

- 「目指せ! 弥太郎 商人(あきんど)塾」の開講
⇒ビジネスの基礎から実践までの一貫した研修で、地域の産業を担う人づくりを行います。
- ステップアッププランへの支援メニューの創設
⇒アイデアや芽出しの段階の取り組みも含め、総合補助金の支援メニューを拡充して、段階に応じた柔軟な支援を行います。
- 事業の拡充に向けた人・資金面でのさらなる支援
⇒アドバイザー制度や総合補助金などの支援を拡充します。

■地域産業を創造・リードする人材の育成・確保

- 「目指せ! 弥太郎 商人(あきんど)塾」の開講(再掲)
- 農村において自ら企画・提案(創造)し、行動できるリーダーの育成
⇒先進地域の視察や集合研修を通じて、農村のリーダーを育成します。
- 県内若手人材が集うミーティングの場を設置
⇒県内の若手人材の異業種交流を促進し、県民運動や新しいビジネスにつなげます。
- 第一次産業の新規就業者に対する支援の充実
⇒都会の就農希望者への相談・研修の場の提供、特用林産業(炭焼き、しいたけ栽培など)の生産技術の習得、漁船リース事業の対象の拡大などを行います。
- 新規大卒者などの県内企業への就職促進 ⇒県内企業の情報発信を支援します。

●例えばこんなとき・・・



ビジネスのアイデアはあるけれど、どうすればいいのかわからない……

まず、「目指せ! 弥太郎 商人(あきんど)塾」のステップ1(基礎編)に参加してみてください。ビジネスの基礎から学んで、成果につなげていきましょう。一連の研修を通して、次のビジネス展開に自ら取り組んでいくノウハウが学べます。



高知に戻って農業を始めたんだけど、いきなりは不安だなあ……

都会(東京・大阪)にいながら高知で農業を始めるための就農相談や基礎的な研修が受けられます。また、高知県立農業大学校研修課でスクーリング研修(体験農業)も用意しています。お問い合わせ: 環境農業推進課 TEL:088-821-4532
また、実践段階では、資金の助成や技術指導が受けられます。お問い合わせ: 農地・担い手対策課 TEL:088-821-4512



1 地産地消・地産外商の推進

2 産業間連携の強化 ・食品加工の推進 ・観光の戦略的展開 等

3 人材育成・担い手確保

すべての産業に
共通した
取り組み!

農業(主な例)

- **生産から流通・販売までの一元的支援体制の構築**
 - ・新たな販路開拓と有利販売のための流通支援体制の整備
⇒量販店とのパートナーシップの構築
- **まとまりのある園芸産地の再構築**
 - ・園芸戦略推進会議における戦略の共有と実践
⇒農業者・農協の地域でのまとまりの支援
 - ・篤農家の優れた生産技術を学び・教えあう場の仕組みづくり
 - ・レンタルハウス整備事業の充実
⇒補助限度額等の見直し、中古ハウスの有効活用
- **環境保全型農業のトップランナーの地位を確立**
 - ・環境保全型農業技術の開発と普及
⇒IPM 技術の開発・普及
 - ・安全・安心の確保
⇒地域や品目に応じた高知県 GAP の普及
- **生活できる所得を確保するこうち型集落営農の実現**
 - ・中山間地域において農業で生活できる所得を確保する仕組みづくりを推進
⇒モデル集落の成功事例を各市町村に拡大
- **品目別総合戦略の実践**
 - ・生産から流通・販売までを見通した品目別総合戦略の共有と実践
⇒35品目(園芸28、米、茶、畜産5)
- **担い手の育成と生産資源の保全**
 - ・認定農業者の育成・確保
⇒新規認定者の確保と認定農業者へのフォローアップ
 - ・新規就農者の確保・育成
⇒実践研修や遊休ハウスの活用・異業種からの参入・JA 出資型法人の設立への支援
 - ・耕作放棄地の解消・担い手とのマッチング
⇒耕作放棄地の再生利用の推進と新たな担い手とのマッチングを支援
 - ・農業農村整備の推進【農地・水・環境保全向上対策の推進】
- **新たな取組による農業・農村の支援**
 - ・食品加工の推進⇒トータルな支援体制の構築、パッケージ事業の実施
 - ・「高知の食」を活用した取組の拡大
⇒直販所の機能強化、食育(学校給食)による地産地消の拡大
 - ・グリーン・ツーリズムの推進⇒集落をまるごと情報発信



成果のきざし

★関東・関西量販店との連携

- ・新需要開拓マーケティング協議会の設立
- ・東急ストア、セイミヤ、関西スーパー、おおさかパルコープとのパートナーシップを構築
⇒県産野菜等フェアを実施し、定番化へ(例:22年1月に東急ストア関東51店舗において高知フェアを開催)

★環境保全型農業の トップランナーの地位を確立

- ・先進地であるオランダ・ウェストラント市との協定締結
- ・土着天敵温存ハウスを活用する市町村が増加(3→10)
- ・天敵導入面積率が増加(ナス類41%→47%、ピーマン類59%→69%)

★土佐の肉や卵を広める

- ・「土佐あかうし」「土佐ジロー」「土佐はちきん地鶏」の販路拡大
⇒「土佐はちきん地鶏」の取扱店40%増加(264店)

★県内の食品加工業生産能力の増強

- 本県の誇る素材(ユズ・トマト)などを生かした加工工場の新増設
⇒県内食品加工業の発展
- ・ユズ香油企業の工場を県外から誘致実現
- ・トマトジュース工場の増設
⇒40人規模の雇用創出
- ・芋菓子製造工場の増設

力強い、第一次産業!

林業（主な例）

●林業・木材産業の再生

- ・「森の工場」の整備⇒効率的な作業システムの導入（作業道の開設、高性能林業機械の導入）
- ・担い手の育成⇒新規就業者・自伐林家等の支援、森林施業プランナーの養成
- ・製品の品質の向上⇒JAS制度の普及、乾燥機等の機器の導入促進
- ・製材工場等の体制の整備⇒既存工場の共同化・協業化、大型加工場の誘致
- ・製品の流通体制の整備⇒消費地流通拠点の設置・活用と共同輸送体制の整備
- ・販売力の強化⇒消費地での販売促進活動の強化や販売拡大拠点の設置、ブランド戦略の実施

●木質バイオマスの利用の拡大

- ・未利用資源の有効活用⇒林地残材の収集・運搬コスト低減に向けた支援、木質バイオマス利用施設の整備支援

●森のものの活用

- ・森の資源の活用⇒特用林産物の共同集荷の仕組みづくりや販売ルートづくり
- ・都市との交流の促進⇒エコツーリズムなど魅力あるメニューづくりの支援

●健全な森づくり

- ・荒廃森林の解消⇒間伐の積極的な推進、管理代行など新たな仕組みづくり
- ・高知県オフセット・クレジット（高知県 J-VER）制度の普及 ⇒ 森林整備により吸収される CO₂ をクレジットとして販売。更なる森林吸収対策と温暖化対策を推進



成果のきざし

木材生産の効率化

- ・効率化した木材生産を行うために整備された「森の工場」を、平成 21 年度は新たに約 6,400ha 認定（認定目標に対し、96% の進捗率）

県産木材の県外への販路拡大

- ・県外消費地の企業を訪問し、新たなネットワークづくりや販売ルート開拓の契機を見出す
- ・関東の工務店や設計事務所などを対象とした県産木造住宅 PR のセミナーを開催し、販売量の拡大を目指す

森林の資源（「森のもの」）の有効活用と販路の拡大

- ・木質バイオマス（未利用林地残材）の利用量が約 3 倍に（H21:15,300t）
- ・木質ペレットを使用するボイラーの導入拡大、台数は昨年度に比べ約 3 倍に（73 台）
- ・都道府県プログラム認証の取得による高知県 J-VER 制度の稼働
- ・削減クレジット 2,641t-CO₂ の販売

水産業（主な例）

●生産物（鮮魚）の売上高を伸ばすための戦略

- ・生産物の量の確保、質の向上及び市場競争性の導入を通じた産地入札価格の向上⇒黒潮牧場の整備、カツオ船への活餌供給体制の確立、藻場の回復、新規就業者への支援、産地市場の拠点化・オープン化
- ・県漁協による「土佐の魚」への付加価値向上 ⇒ 県漁協の流通販売事業に関する取組強化
- ・養殖生産物の流通・販売の強化 ⇒ 養殖生産者グループの育成、養殖生産者の販路開拓支援
- ・土佐の魚の消費拡大（県産水産物の PR など） ⇒ 県内向け消費拡大対策、県外向け消費拡大対策

●漁業費用を削減するための戦略

- ・供給価格引下げの仕組改善⇒県漁協の経営合理化、県漁協のサービス改善と人材育成
- ・個別経営体への指導⇒ハード面での構造改善への支援、養殖技術の向上

●水産加工の産業化（1.5 次産業化）に向けた戦略

- ・零細規模での加工による高付加価値化 ⇒ 商品開発から販売までの取組の総合的支援
- ・前処理加工・冷凍保管事業の起業化 ⇒ 漁協等の前処理加工事業への参入を支援



●滞在型・体験型観光の誘客に向けた戦略

- ・滞在型・体験型観光機能づくり ⇒ 漁村での受入環境の整備、受入体制の強化、情報発信・商品販売への支援

●中山間地域に賑わいを取り戻すための資源豊かな河川づくりに向けた戦略

- ・河川資源の増強 ⇒ 種苗放流や産卵場造成など人工的対策、自然再生産が可能な河川づくり
- ・冬季における河川の利活用（アマゴ漁期の拡大） ⇒ 規制解除のための調査と規則改正への準備

高知の漁村が潤うように

- ・漁獲効率を高める「黒潮牧場」の整備（3 基設置）
- ・22 年 1 月から地元カツオ船への活餌供給体制を確立⇒1~2 月の佐賀地区のカツオの水揚げ量は 54 トンで前年同期の 3.2 倍に増加

高知県漁協が「土佐の魚」を県内外に売り込み

- ・県内量販店 10 店舗において週 3 回「土佐の魚」を県漁協が直接供給 ⇒ 今後は県外の業務筋、大消費地との取引拡大を目指す

県産水産物の PR 活動を展開

- ・テレビ CM の放送（180 回）、量販店や鮮魚店とタイアップしたキャンペーンの実施（115 店舗）など、PR 活動を展開⇒消費者の県産水産物への関心を喚起

消費地市場（大阪）関係者との交流会を開催

- ・2 回開催・延べ 46 名の県内流通・加工事業者などが参加⇒新たな取引の成立、人的ネットワークの構築、大阪周辺の量販店における高知フェアの開催に繋がった

前処理加工・冷凍保管の事業化の推進

- ・意欲のある漁協や企業に事業化を働きかけ ⇒ シイラや養殖魚等を使った前処理加工の事業化に向けた具体的な取り組みがスタートした

商工業（主な例）

産業振興センターの 取り組みと連携

●地域経済を牽引する工業の活性化

◆地場産業の振興

- ・成長が期待される分野（食品・天然素材・環境・健康福祉）について、官民協同で研究会を設置し、事業化への取り組みを支援
- ・県の専任チームを軸に、産業支援体制を構築し、地域経済を牽引する中核企業を目指す企業を育成
- ・県内に需要がある機械や設備を県内で製造する「機械系ものづくりの地産地消」の推進
- ・製造業ポータルサイトを活用した事業者の技術・設備情報の提供や、県外主要展示会への高知県ブースの設置、県主催商談会の開催により受注機会の拡大や販路拡大を支援
- ・試験研究機関が、ものづくりを技術面、人材育成面からバックアップ ⇒
工業技術センター：食品加工や機械金属の特別技術支援員が企業を巡回し総合的に支援
事業者のニーズに応じた技術指導アドバイザーの派遣
機械・金属や食品加工に関するセミナーや研修の実施
紙産業技術センター：事業者のニーズに応じた技術指導アドバイザーの派遣
紙産業やコスト低減などに関する各種勉強会やセミナーの実施
日常的な企業訪問により情報の提供や収集を実施

◆企業立地の推進

- ・地域固有の技術や資源などを活用した誘致
- ・核となる企業や不足業種の誘致を進め、地域内で完結する生産体制の構築

◆新たな産業の創出

- ・産学官の連携により食品加工分野での共同研究を重点的に推進
- ・コンテンツ産業の事業化に向けた取組の推進 ⇒ 官民参加のコンソーシアム方式でビジネス化を推進、本県発のオリジナルコンテンツのビジネス化と人材の発掘

◆海洋深層水の利用拡大

- ・他の取水地との連携によるブランド力の強化
- ・効果的な映像ツール等の作成によるPR戦略
- ・基礎研究の着実な推進による新たな利用分野の模索

●地域経済に貢献する商業の活性化

- ・魅力ある個店づくりに向けた経営改善指導
- ・アンテナショップや産直ショップの出店を支援し、地産地消・地産外商を推進
- ・e-コマースやITに関する知識を商業者に習得してもらうセミナーを実施
- ・観光客を呼び込むルートマップづくりや商品開発など観光と連携した商業の活性化を支援

●産業人材の育成と確保

- ・学校と産業界、企業の連携強化による企業実習や企業研修の実施
- ・しごと体験枠の拡充やキャリアカウンセラーの増員などジョブカフェの機能充実
- ・高等技術学校での在職者訓練や企業自らが行う研修会への講師の派遣
- ・県内出身の県外大学生へ県内企業情報提供の強化により即戦力となる人材の確保
- ・「高知しごとネット」による求人求職情報の円滑な提供

●建設業の新分野進出

- ・新分野進出の促進に向けた地域での支援体制の構築 ⇒ 地域産業振興監の所在する地域オフィスを地域の相談窓口（県内7ヶ所）として設置、新分野進出アドバイザーが建設業者を順次訪問。情報の提供、収集を行い新分野進出を支援
- ・新分野進出事例集によるPRや研修、セミナーなど情報提供の充実

成果のきざし

潜在力のある分野への重点的支援（「企業研究会」）

- 成長が期待される4分野（食品、天然素材、環境、健康福祉）に重点的支援（160社が参加）⇒4件の事業化プラン認定（平成22年度の認定目標件数は40件）
- ・高齢者用軟化食提供事業
- ・ドリップシートの開発
- ・消毒用ウェットティッシュの開発製造販売
- ・医療向けeラーニングコンテンツの開発

展示会及び商談会による販路拡大支援

- 展示会（16社2団体参加）
成約4件、見積依頼55件、試作依頼8件、商談中64件
- 商談会（66社参加）
成約6件、見積依頼59件、試作依頼8件、図面検討14件、商談中54件

企業立地の推進

- 8件の企業立地が実現
⇒新規雇用400人、出荷額1,200億円の見込み

就職相談支援センター（ジョブカフェ）の機能充実 幡多サテライト開設

技術人材の育成

- 食品加工特別技術支援員（講演6回、技術指導73件、商品化5品目）
- 技術指導アドバイザーによる技術指導（47回）
- 技術研修開催（26コース734名参加）



観光（主な例）

●効果的な観光PR、プロモーション活動の展開

- ・ポスト「龍馬博」を見据え、推進委員会を設置し、観光PR・イメージ戦略を確立
- ・戦略に基づきターゲット別の効果的なPR、プロモーション活動を展開
- ・「龍馬伝」の放送を最大限に生かし、全県的な観光振興につなげるため「土佐・龍馬であい博」を開催
- ・よさこいネットの充実や観光・物産のポータルサイトなど、ウェブサイトを活用した情報発信
- ・フィルムコミッションによるロケーション撮影の誘致

●県内の観光地を結ぶ交通手段の確保

- ・「MY遊バス」等周遊バスの運行体系の強化（「土佐・龍馬であい博」に関連する周遊バスの運行）
- ・「観光ガイドタクシー」等を活用した周遊プラン（モデルコース）の企画・実施
- ・四国ツーリズム創造機構が旅行会社とのタイアップ等によりレンタカープランを充実
- ・公共交通を使ったモデルコースの設定や案内情報の充実

●四国4県での受入態勢の整備、PR活動の展開

- ・四国4県とJR四国、民間で組織する「四国ツーリズム創造機構」を設置し、活動を強化
- ・首都圏でのPR・プロモーション活動、旅行エージェント等と連携したキャンペーン事業、東アジアを対象としたインバウンドフォーラム等の実施
- ・四国ツーリズム創造機構が旅行会社とのタイアップ等によりレンタカープランを充実（再掲）

●地域の自然・歴史・文化などを生かした県民参加による体験型観光資源の発掘と磨き上げの推進

- ・「龍馬伝」の放送を最大限に生かし、全県的な観光振興につなげるため「土佐・龍馬であい博」を開催（「花・人・土佐であい博」で芽出した地域資源の継続的な育成と支援も実施）（再掲）
- ・400万人観光推進チームを設置し、PDCAサイクルを回しながら、全国に発信できる観光施設、地域資源を磨き上げ
- ・観光圏整備事業の導入実施
- ・広域観光周遊ルートづくり（フォトスポットの整備等）
- ・まち歩き観光の拡充と情報発信
- ・地域産物を活用した魅力づくり
- ・教育旅行の受入態勢づくり
- ・滞在型・体験型観光推進の気運づくりのための研修、講演会等の実施
- ・旅行の動機づけとなるイベント等の企画（ポスト「龍馬博」を見据えたイベント等）



●観光振興に寄与する人材の育成と活用

- ・地域で観光をテーマに活動している人材のネットワークの場の設置
- ・観光ガイドのスキルアップのための研修の開催と有料ガイドへの移行
- ・「土佐・龍馬であい博」の企画・運営及び「龍馬博」終了後も継続してPR戦略づくり・受入態勢整備等について民間アドバイザーを活用
- ・滞在型・体験型観光推進の気運づくりのための研修、講演会等の実施（再掲）

●地域コーディネート組織の整備

- ・着地型旅行商品をめざした広域周遊ルートづくりや広域観光情報の発信など、ワンストップサービスを担う地域コーディネート組織の立ち上げ及び組織強化を支援

●国際観光の推進

- ・国際観光推進会議を設置し、官民一体となった国際観光推進のための意識の醸成と戦略（海外からの観光客のニーズ調査、観光案内板等の多言語化、宿泊施設等の従業員研修等）を策定・推進
- ・観光案内板、誘導標識、パンフレットの多言語化の推進
- ・特に東アジアをターゲットにした外国人観光客誘致の取り組みを強化

●産業間連携による新たな可能性への挑戦

- ・「龍馬伝」とタイアップした商品の開発、販売
- ・首都圏新アンテナショップによる販路開拓にあわせた観光情報の発信
- ・グリーンツーリズム、ブルーツーリズム、森林セラピー、間伐体験などの体験メニューの充実と外部アドバイザーの活用やインストラクターの養成

※赤字はポスト「龍馬博」関連の取り組み

成果のきざし

★龍馬博を盛り込んだ ツアー商品が多数登場

現在まで様々な旅行代理店などにより100を超える旅行商品が発売

★観光リーフレット 「トサコレ！」好評

県内全域のおすすめ観光コースやご当地名物など全99種類のリーフレットを「とさてらす」で配布中



★観光資源の磨き上げ

龍馬ゆかりの史跡めぐりを中心に、新たにまち歩きコースを設定 ⇒ 「龍馬の生まれたまち歩き～土佐っ歩～」
H21.10開始 6コースで実施



★延べ宿泊者数…増加

主要旅館・ホテルの宿泊客数（平成22年1～3月、前年同期比）⇒ 全体で16.7%アップ【日本銀行高知支店調べ】

★観光施設入込客数…増加

主要観光施設（14施設）入込客数（平成22年1～3月、前年同期比）⇒ 全体で53.7%アップ

400万人観光の実現、
1000億円産業へ

地域アクションプラン

全238事業

H21 年度地域アクションプランの状況

- 139 の取り組みが本格的に動き始める
- 総合補助金 43 件採択
- 取り組み熟度が上がったプランが 40 件
- 新たな地域アクションプランへの位置付け: 22 件
削除・統合・分割により、平成 21 年度 221 件
⇒ 平成 22 年度 238 件

高幡地域 (主なもの)

37 件

- 園芸品目等の地域基幹品目の振興
- スラリーアイスを活用した魚価向上対策
- シイラを柱とした水産加工業の創設
- 津野町地域資源「ふる」活用ビジネス事業
- 梶原町の体験型・滞在型観光の推進
- 海洋堂ホビー館を活かした観光人口の拡大
- NEW! ● 四万十の栗再生プロジェクト
- NEW! ● 津野山産原木シイタケの生産・販売・収入の拡大 など



仁淀川地域 (主なもの)

36 件

- 仁淀川流域茶のブランド化
- 薬用作物の産地拡大による所得の向上
- 力強い高糖度トマト産地の確立
- うるめのブランド化
- 「土佐和紙」の販売促進
- 体験型観光・食観光の推進
- 仁淀川流域ジオパークへの取り組み
- 加工用ワサビの加工の促進 など



幡多地域 (主なもの)

47 件

- 果樹 (ブタン・ユズ) の産地づくり
- 直七 (なおしち) の搾汁・商品加工
- 「黒潮印」の商品開発
- しみずの元気再生事業
- 拠点ビジネスの推進 (大月町まるごと販売事業)
- 幡多広域における滞在型・体験型観光の推進
- NEW! ● サメ漁業復活に向けた取り組み
- NEW! ● イチゴを核とした 6 次産業化
- NEW! ● 栗からはじまる西土佐地産外商プロジェクト など



更なる挑戦へ！
きめ細かくサポート！

一つひとつの取り組みが実を結び、しっかりとビジネスとして育ち、さらに地域の中で他の事業とつながることで地域の基幹産業として育っていくよう、支援していきます。

嶺北地域 (主なもの)

23件

- 米粉を活用したビジネスの展開
- れいほくブランドの園芸産地の確立
- ユズの加工拠点づくり
- 土佐はちきん地鶏の生産拡大
- 大型製材工場の誘致による地域材利用促進
- 「れいほくスケルトン」の販売促進
- NEW! ● 白髪山・工石山を活用した交流人口の拡大による地域活性化の取り組み
- NEW! ● 早明浦ダムを活用した交流人口の拡大による地域活性化の取り組み など



物部川地域 (主なもの)

22件

- 生産者と消費者をつなぐ場づくり (農家レストラン)
- 農産物加工等への取り組み計画
- シイラの加工商材活用
- 「ごめん」をブランド化
- 土佐打刃物、フラフの振興 など



安芸地域 (主なもの)

35件

- まとまりのあるナスの産地づくり
- ユズを中心とした中山間地域の農業振興
- 土佐備長炭生産・出荷・販売体制の強化事業
- キンメダイ、スジアオノリのブランド化に向けた取り組み
- 地質資源を活かした交流人口の増加 (世界ジオパーク認証に向けた取り組み)
- 龍馬伝を活かした観光振興
- 魚梁瀬森林鉄道遺産を活用した交流人口拡大
- NEW! ● 地場産品直販所「かつぱ市」の機能強化 など



高知市地域 (主なもの)

38件

- 中山間地域の暮らしを支える集落営農の推進
- 稲ホールクroppサイレージを核にした耕畜連携の推進と二期作文化の復活
- 乳製品の開発による新しい酪農経営モデルの創出
- 中心商店街でのアンテナショップの運営
- 「龍馬伝」を契機とした観光の振興
- NEW! ● 春野地区の農産物 (トマト等) の付加価値向上
- NEW! ● 高知にぎわい東西軸活性化プラン (仮称) に基づく中心部の活性化 など



地域アクションプラン集計表

地域	H21 AP数
安芸	34
物部川	22
高知市	37
嶺北	18
仁淀川	35
高幡	38
幡多	37
合計	221

17件増!

H22 AP数
35
22
38
23
36
37
47
238

地産地消・地産外商

米のブランド化による稲作農業の展開【本山町】

てんくう さと 土佐天空の郷

取組の内容

ブランド米の生産拡大
販売促進・PR活動

主な成果

- ・ 棚田で作る地元産米を色、大きさ、食味にこだわるブランド米「土佐天空の郷」と命名し、販売開始
- ・ 関東・東海地区を中心に約70店舗で販売開始

今後の方向性

- ・ 生産・販路拡大
- ・ 直接販売による農家の収益増



林業加工品の販売促進【馬路村】

エコアス馬路村

取組の内容

モナッカ以外の新商品開発と既存商品を含めた販路拡大

主な成果

- ・ デザインコンペを開催し、選出された5点の新商品を試作
- ・ 国内外展示会（東京ビッグサイト、フランス）へ出展し、12件契約（既存商品）

今後の方向性

試作品の商品化と販路の獲得



うるめのブランド化【土佐市】

宇佐もんや

取組の内容

宇佐うるめの加工品の開発、流通・供給体制の確立、販路拡大

主な成果

- ・ 直販所「宇佐もんや」が開設され、加工品、うるめいわし料理を提供
- ・ 県内外の28店舗へ鮮魚の定期発送（県外4店舗、県内24店舗）

今後の方向性

開発した商品を生産販売するための事業体制の確立



中心商店街でのアンテナショップの開設【高知市】

土佐せれくとてんこすしよつぷ

取組の内容

高知市アンテナショップの開設、県内各地域の製品の販売など

主な成果

- ・ 県内の市町村から集めた約900点の商品を陳列
- ・ 観光パンフレット等による県内市町村の情報発信

今後の方向性

- ・ 県産品の新たな発掘や各種情報発信機能の充実
- ・ 商店街の活性化



米粉を活用したビジネスの展開【土佐町、本山町、大豊町】

米粉の里 嶺北

取組の内容

米粉用品種の選定・栽培普及
加工製品の開発・販売

主な成果

- ・ うどん、麺、パン・菓子、カステラなどの商品開発
- ・ 米粉製造:38t
- ・ 米粉用米作付面積:10ha
- ・ 「コープかがわ」でれいほくコーナー開設（れいほく製品の販売、5店舗）

今後の方向性

米粉加工品の開発・販売、関西方面への販売促進、米粉の里構想の推進



ユズを核とした中山間農業の活性化【高知市】
ユズを中心とした中山間地域の農業振興【室戸市、安芸市、安田町、北川村、馬路村】

ユズの加工

取組の内容

ユズ搾汁施設の整備

主な成果

- ・ 搾汁能力の向上
- ・ 衛生管理面の充実により収益増に向けての態勢が整う
- <搾汁率>
・ 16.8% ⇒ 18.8%【高知市】
- <搾汁実績>
・ 1,190t (H20)
⇒ 2,070t (H21)【北川村】

今後の方向性

- 【高知市】
- ・ 搾汁過程の効率化
- ・ ユズ皮等の有利販売先の確保
- 【北川村】
- ・ ユズ酢の販売強化



食品加工（水産物）の推進

低価格な定置網漁獲物の販売戦略【室戸市】

サバ

取組の内容

定置網で獲れた低価格魚の加工（加工施設の整備、「シメ鯖」・「塩鯖」・「切り鯖」の加工）

主な成果

加工業者と漁協が連携し、販売を展開
目標：加工 200t/年、販売額 1 億円

今後の方向性

企業、漁協、行政の連携体制の強化と新たな商品開発



にぎわいづくりを中心とした活性化のための魚加工施設の整備【宿毛市】

キビナゴ

取組の内容

キビナゴ個別別冷凍、ブリ・サバ・タイ等のフィーレ、加工（加工施設、冷凍庫の整備）

主な成果

取引先の増加
（3社⇒10社）
新規雇用 4 名

今後の方向性

学校、病院、介護施設への販路拡大



シイラの加工商材活用【香南市】

シイラを柱とした水産加工業の創設【四万十町】

シイラ

取組の内容

シイラの加工、販売による付加価値の向上
・シイラの前処理加工施設の整備【香南市】
・加工販売施設の整備【四万十町】

主な成果

一次加工による商品価値の向上、
浜値の上昇及び雇用の確保

今後の方向性

新規販売先の確保、経営力の強化 など



の推進

企業進出による雇用の増と地元企業の活性化【日高村】

芋菓子のブランド化

取組の内容

芋菓子加工施設の整備によるブランド化（芋産地との連携強化）

主な成果

・芋生産 200t/年
・販売額（目標）3.5 億円（H23）

今後の方向性

県外への販路拡大



仁淀川流域茶のブランド化を主体とした茶の振興【仁淀川町、越知町、佐川町、日高村、いの町】

仁淀川流域茶

取組の内容

仁淀川流域茶の統一したブランドの確立
茶を利用した加工品の開発

主な成果

販促資材の作成、販促イベントへの参加
⇒流域茶の出荷量に占める製品茶の取扱量の拡大

今後の方向性

生産者のプロモーション能力の向上、マーケティング活動や商品開発への取り組み



魅力のある観光

地質資源を活かした交流人口の増加（世界ジオパーク認証に向けた取り組み）【室戸市】

室戸ジオパーク

取組の内容

誘客と受入体制の整備

今後の方向性

世界ジオパークの認証

主な成果

- ・遊歩道及び案内板の整備、ホームページの開設
- ・ジオガイドの養成（新規認定 15 名 総計 22 名）



『龍馬伝』を契機とした観光の振興【高知市】

高知市観光遊覧船

取組の内容

観光遊覧船の受入体制の充実

今後の方向性

観光客の他の観光地への誘導策の検討

主な成果

- ・高知市観光遊覧船の運営態勢の強化
- ・観光遊覧船の3隻目の導入（H22.3 運航開始）
- ・最大乗船人数が増加（24人→36人）し、団体客を一度に受入可能に



津野町地域資源「ふる」活用ビジネス事業【津野町】 森林セラピー推進による地域活性化【梶原町】

森林セラピー

取組の内容

森林セラピーによる交流人口の拡大

今後の方向性

地域外からの集客の取り組み

主な成果

【津野町】

- ・セラピーガイド3名、天狗高原ガイド8名誕生
- ・セラピーロードの整備

【梶原町】

- ・森林セラピスト3名、セラピーガイド5名誕生
- ・農家民宿2軒開業
- ・セラピー弁当の開発



「魚梁瀬森林鉄道遺産を活用した交流人口の拡大【奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村】

森林鉄道遺産

取組の内容

森林鉄道遺産を新しい地域資源ととらえた交流人口の拡大や文化活動の促進

今後の方向性

地域内でのビジターセンターの設置

主な成果

- ・H21.6 重要文化財指定（18ヶ所）
- ・H22.3 WEBミュージアムの開設
- ・ガイド15名養成中
- ・案内板の設置（19ヶ所）



その他の特徴的な展開

土佐はちきん地鶏を活用した新しい産業の展開【大川村】

土佐はちきん地鶏

取組の内容

年間 10 万羽生産体制の施設整備
生産から販売までの体制づくり、
販路開拓

今後の方向性

年間 10 万羽の生産・処理
体制の整備



主な成果

- ・(株)むらびと本舗設立：(H21.4) 生産～処理～販売の取り組み推進
- ・育成舎の整備：年間 6 万羽の生産体制の整備 (21 年度 :5.1 万羽生産)
- ・販売促進・PR 活動：土佐はちきん地鶏振興協議会を中心に実施
取扱店 264 店

地産地消・食育の推進【南国市】

地産地消による食育

取組の内容

地産地消のさらなる推進

主な成果

南国市の全小学校への給食用食材（野菜・果物）
の定期的な配送体制を実現

今後の方向性

- ・学校給食への供給量の増大
- ・民間レベルへの取り組みの拡大



稲ホールクroppサイレージを核とした耕畜連携の推進と二期
作文化の復活【高知市】

稲ホールクroppサイレージ（稲発酵粗飼料）

取組の内容

水稻農家と酪農家の連携

主な成果

専用機械を導入し、19ha まで生産面積を拡大

今後の方向性

耕畜連携の拡がりにつなげる
飼料稲の需要に見合った生産面積の拡大 23 年度目標 30ha



土佐備長炭生産・出荷・販売体制の強化事業

【東洋町・室戸市】

土佐備長炭

取組の内容

土佐備長炭の価格交渉力の向上や販売促進

主な成果

【室戸市】 研修窯 2 基設置
【東洋町】 共同窯 2 基設置

今後の方向性

H23 までに、800t、3 割
増を目指す
新規製炭者育成（14 名）



滞在型市民農園の推進等による農大跡地の活用【四万十町】

クラインガルテン

取組の内容

滞在型市民農園（クラインガルテン）
の整備

主な成果

「クラインガルテン四万十」
H22 年 4 月開園
コテージ 15 棟、貸農園 16 区画の整備



今後の方向性

利用者を移住につなげ
ていく

「かつお」まるごと商品開発プロジェクト【中土佐町】

どく礼もん

取組の内容

「かつお」を使った
商品開発と販路開拓

今後の方向性

企業組合の体質強
化、加工施設の確保

主な成果

- ・ファーストフード店
「cafe do kuremon」の開設
- ・新商品開発（カラヤン、クレティーヤ、スープカレー等）



取組の内容

地元特産品を活かした新商品開発、
販路拡大、大月町の魅力発信

主な成果

大月町の魅力を活かした取り組み
・新商品開発⇒ 8 品
・カタログ通販、ネット販売による販路拡大

今後の方向性

商品の充実、販売促進



参 考

地産地消・地産外商の取り組み

地域資源の洗い出し

【地域資源の強みを知る、生かす】

県内各地域にある 資源の情報の共有	地域資源活用共有会議	地域資源や地場産品の情報共有、商品化の協議
	地産外商推進協議会	県外市場の売れ筋などのトレンド情報、県内の生産者の情報、加工技術を有する生産者の情報の共有など、商品化を行おうとする民間事業者の方々の支援
	企業研究会	食品、天然素材、環境、健康福祉をテーマとする研究会を企業等で組織し、事業化プランを策定



商品づくり・加工 ブラッシュアップ

【付加価値を生み出す】

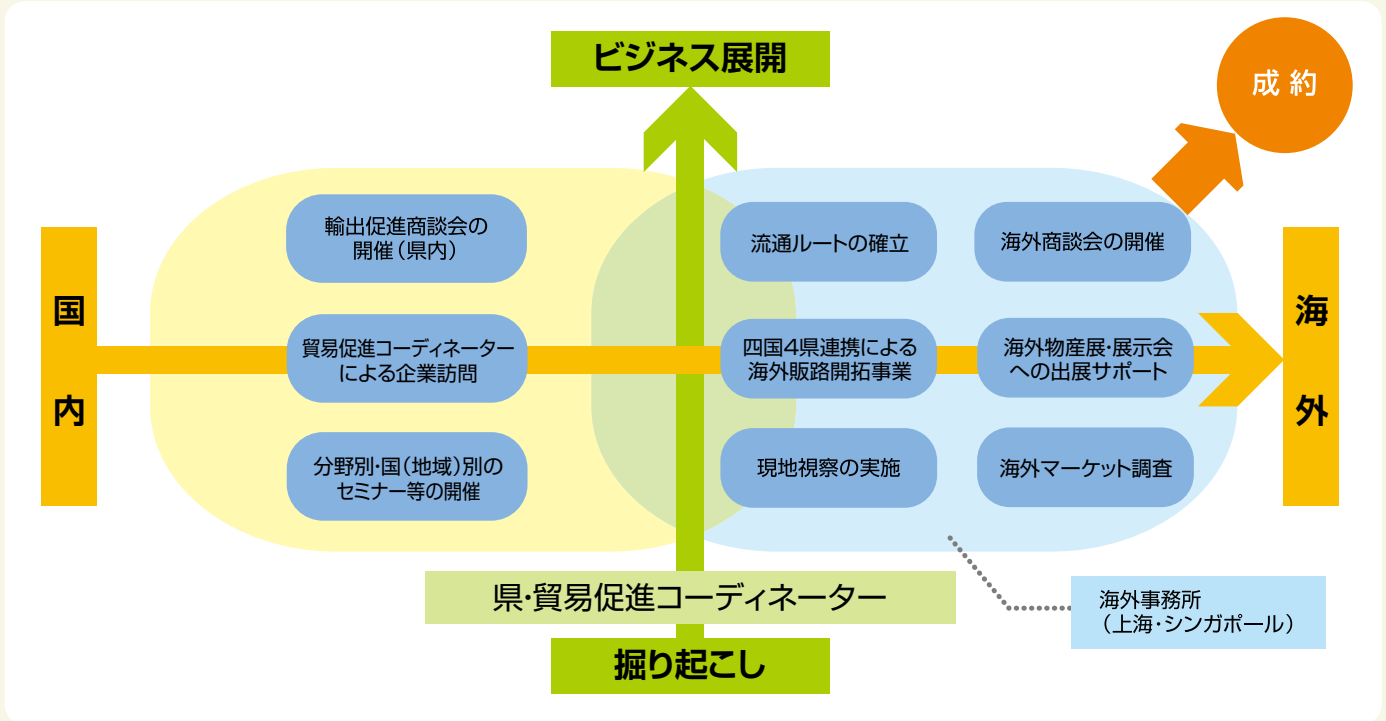
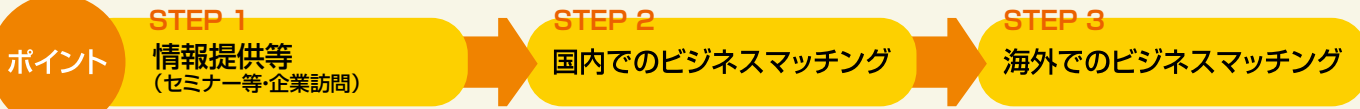
①地産地消で ものづくり	付加価値を県内で生み出す仕組みづくりを進めます。 <ul style="list-style-type: none">・ 製造業ポータルサイトの活用による加工業者とのマッチング・ 県内の加工業者の技術、設備の情報収集と提供・ 前処理加工施設等の整備に対する支援
②マーケットイン の商品づくり	消費者のニーズにあった商品開発を支援します。 <ul style="list-style-type: none">・ 外部の専門家を活用した品質、パッケージ、ネーミングなどのブラッシュアップ・ アンテナショップ、e コマース等を活用したテストマーケティングの場の提供・ 県工業技術センターを中心とした技術人材の育成、事業者へアドバイザーを派遣し、技術面から支援



販路開拓・販売拡大

地産地消	①直売所を販売面・情報面での地域拠点とする	
	②大消費地・高知市でのアンテナショップの運営支援	
	③量販店での地域産品の売り場の確保	
	④ものづくりの地産地消に向けての異業種間のマッチング支援	
地産外商	①新たなセールス拠点 の構築・首都圏新アン テナショップの設置	・ 販路開拓機能（百貨店や量販店、ホテル、飲食店などへの外商機能） ・ 物販機能 ・ 観光情報・食文化発信機能 ・ テストマーケティング機能
	②ポータルサイト 等の活用	・ ポータルサイトの運営や大手 e コマースサイトとの連携による販路拡大 ・ ポータルサイト、広報紙、アンテナショップが連動したマスコミや高知ファンへの情報発信
	③企業の販売力の強化	・ 県及び高知県地産外商公社による営業活動の支援 ・ 見本市、商談会への出展機会の提供と出展効果を高めるセミナーの実施

海外展開の推進に向けた支援策



産業間連携（食品加工）の推進フローと支援の枠組み

一次産品 → 商品開発 → 加工 → 流通・販売

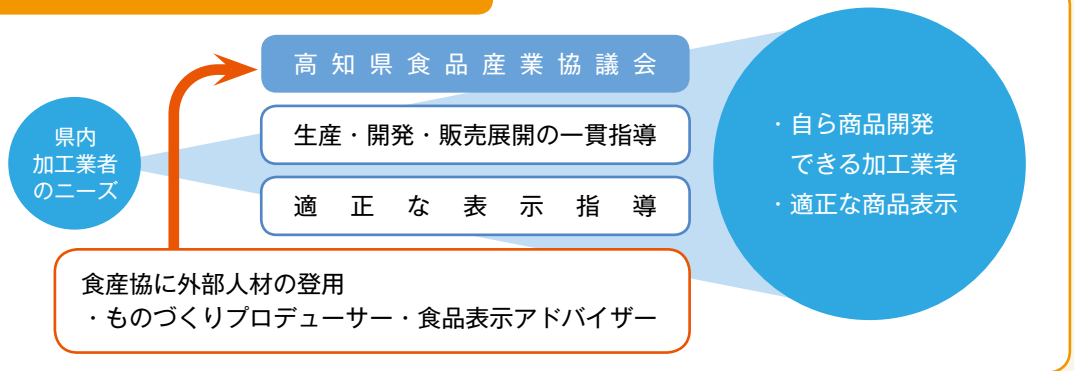
主な取組	品目別戦略の検討・提案・実践	工業技術センター等による技術支援	生産管理高度化に関する研修・調査指導等 (工業技術センター、食品・衛生課(保健所)、地産地消・外商課等)	ブラッシュアップ支援
	一次産業団体、工業団体等との情報共有	事業プランの作成・実行支援	加工施設整備支援	外商支援 (公社等)
	企業とタイアップした商品開発	人材育成支援	プロモーション支援	観光と連携した販促支援

アドバイザー、総合補助金、ファンド、テストマーケティング(アンテナショップ)・商談会 ほか

産業振興推進地域本部、県庁各部局、地産外商公社、産業振興センター等

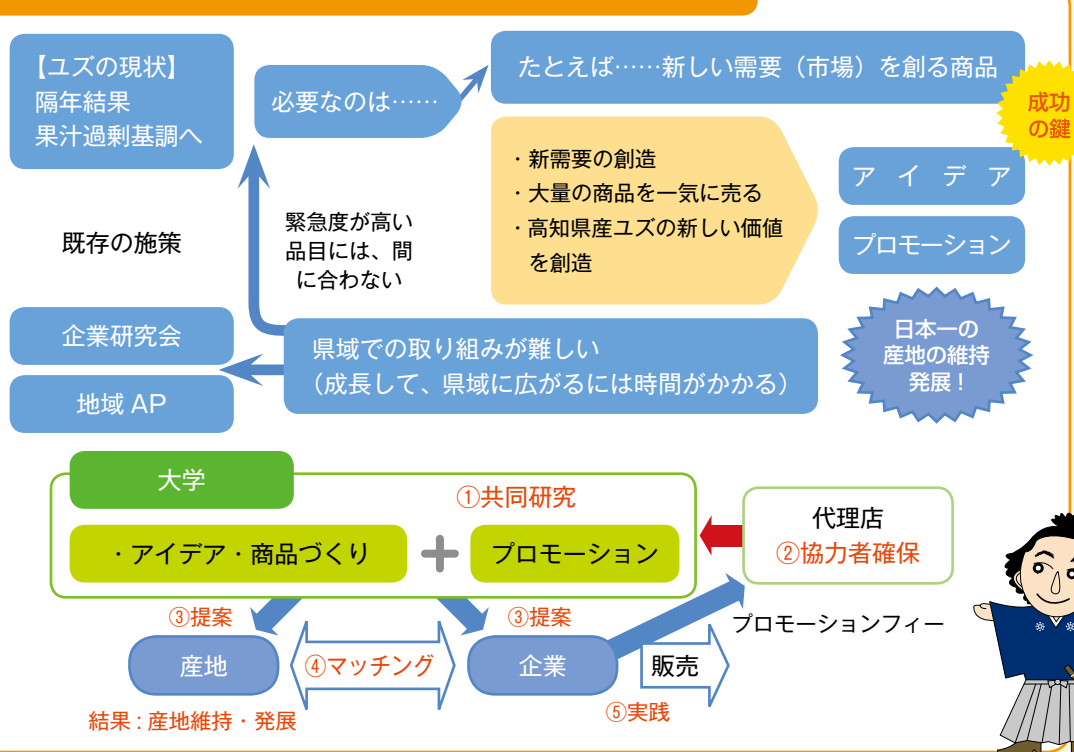
食品加工業者に対する
ハンズオン
支援

1. 食品加工業支援事業



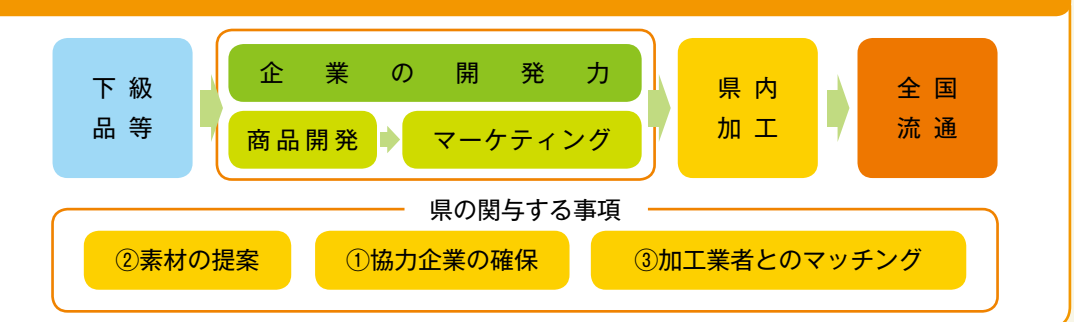
緊急に対応が必要な品目(例:ユズ、土佐文旦、土佐茶、土佐和牛)の加工品開発による新規需要創出

2. 特産農産物加工需要創出共同研究



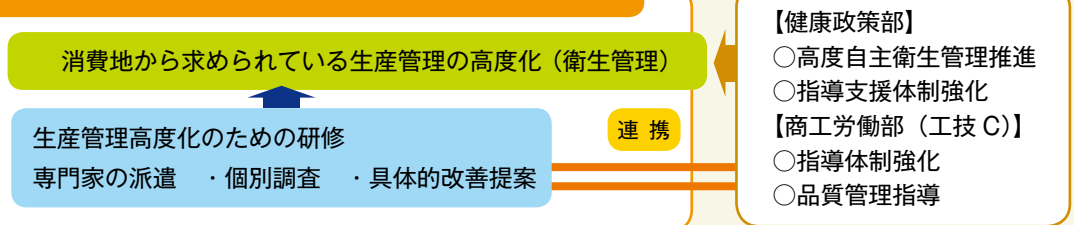
生鮮品の受給バランスを調整できる加工品の創出

3. 企業の開発力・販売力とタイアップし、県内で加工

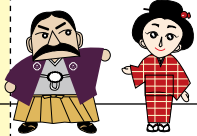


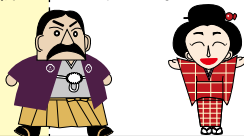


食品加工業者に対する個別支援と学ぶ場の提供

4. 食品生産管理高度化支援事業



地域産業を創造、リードする人材育成イメージ一覧（主な新規・拡充施策）

	例示	ご案内
①	何か事業を始めたいけど、何をすれば…… 地元の素材を使いたいけれど、どんな商品をつくれればいいかな……	未来の弥太郎さん！ まずは、この研修からスタートね。 
	自分たちの商品を売り込んでいきたいけどスキルがまだまだ……	目に見えるビジネスにしていきたいと思います。
②	他分野の人と一緒に県産業全体を考える機会があれば…… 	まずは、産業振興計画をベースに、異業種交流をしながら考えてみよう。
③	地域の事業者を支援する立場からも、産業振興を学ぶ機会があれば……	いろんな視点で学びながら、地域の産業を振興していくネットワークを築きませんか。
④	地域の素材を使った商品をもっと磨き上げていきたいな…… 	消費者ニーズに合致した商品の企画はどうすればよいか、販売戦略は十分か……マーケティングなどのアドバイスを受けてみては。
⑤	農業者として、生産活動だけでなく、加工や直販など新たな事業に挑戦してみたい…… 	事業計画をしっかり立てましょう！ 農業者にお勧めなのは、コレ。
⑥	自社の課題に合った社員研修をしたいが、そこまで手が回らない……	少人数の集合研修を受けてみませんか。社内ですべての人数の受講が見込める場合、企業が企画した研修に講師派遣もできます。

研修概要					
取り組み	目的	対象	形態	期間【締切】	お問い合わせ
★目指せ！弥太郎商人（あきんど）塾	地域アクションプランや、プランへの位置づけを目指す取り組み等の実行に向けて、自ら考え、行動できる地域産業の担い手を育成します	ビジネスや地域振興などに取り組みようとする方 ステップ1: 県内3カ所(東部・中央部・西部)計300名×2回(前期・後期) ステップ2: 20事業者(団体)程度	ステップ1(基礎編): 集合研修(全3回) ステップ2(応用実践編): 集合研修(全5回)/個別実践研修	ステップ1(基礎編): 5月～7月・12月～1月【前期4、5月・後期8～12月(募集期間)】 ステップ2(応用・実践編): 9～3月【6～7月(募集期間)】	計画推進課 088-823-9742
★若手人材による異業種交流	産業振興計画の研修や異業種交流を通じて、地域の活性化や産業の振興に向けた共通認識の醸成と計画への参画意識を促します	産業団体、金融機関、企業、行政、事業者などの若手人材 100名程度	集合研修(講義、ワークショップ)	7月～11月【7月】	計画推進課 088-823-9742
★人材育成塾の開設	地域資源を活用した地域産業づくりを支援する関係機関の若手人材を育成します	産業団体、金融機関、企業、行政、事業者などの若手人材 15名程度	集合研修、先進地視察	10月～3月【9月】	計画推進課 088-823-9742
★産業振興推進アドバイザーの派遣	地域アクションプランに位置付けられた事業等を対象に各事業の課題に応じた専門家等を派遣し、具体的な課題解決や事業計画の検討などを行います	地域アクションプランに位置付けられた事業等の事業実施主体	派遣、指導・助言、講演会	通年(1事業につき、年間1～5回程度)【随時】	計画推進課 088-823-9742
★農業創造人材の育成	地域の食や環境などの地域資源を生かし、農業・農村の活性化に向けた地域振興に関する研修会の実施と、企画書や計画書の作成により、自ら企画・提案(創造)し、行動できる農業者等を育成します	各地域の農業者を含むグループ 40名程度	集合研修(ワークショップ形式)、先進地視察	7月～11月【6月】	環境農業推進課 088-821-4532
★人材育成研修	必要とする人材を育成・確保するために企業が実施する従業員研修等を支援します	民間企業、団体など(従業員、職員)	集合研修・講師派遣	6月～3月【随時】	雇用労働政策課 088-823-9765

★新規事業、◎拡充事業

担い手の育成・確保（農業の例）

相談段階

○就農への意識づけ
（農業高校・農業大学校）
〈新規就農総合対策事業〉

農業法人による出前授業、
ほ場見学を実施します

○クラインガルテン
（滞在型市民農園）で
お試し農業

○相談対応の強化
〈ふるさと雇用再生就農支援
活動事業〉

相談対応機能を強化し、就
農希望者を一層呼び込みま
す

技術習得段階

○こうち
アグリスクール
〈[新] 都会で学ぶこうち農
業技術研修〉

高知県で就農を検討中の方
を対象に、東京・大阪で農
業技術や経営などの研修を
実施します

○基礎研修及び実践研修
（「アグリ体験塾」の研修で
農家体験研修を実施）
〈新規就農総合対策事業農家
等謝金〉

受入農家等への支援を実
施します
（月額5万円の報償費）

○就農予定市町村での
実践研修
〈[拡] 新規就農研修支援事
業費補助金〉

研修生の活動を支援しま
す（研修手当 月額10万
円→15万円以内）
受入農家等への支援を実
施します（月額5万円以
内の謝金）
研修受入農家等に集落営
農組織を追加します

営農準備段階

○資金確保
〈就農支援資金助成事業（無利子）〉

○農地等の情報提供
〈ふるさと雇用再生担い手支
援総合情報提供事業〉

農地や空きハウスの情報を収
集・ストックし、ホームペー
ジなどにより提供します

○初期投資の軽減
・ハウス確保支援
〈レンタルハウス整備事業〉
・新規就農促進区分

新規就農者への手厚い支援
を行います
補助率：県 1/3（中山間 2/5）
市町村：1/3～1/6
補助対象限度額
800万円/10アール当り

営農開始

経営発展の支援

企業の経営体の育成
をトータルサポート
します

○経営者の意識啓発
〈[拡] 企業の経営体育成支援
事業〉

雇用を活用した規模
拡大を進めます

○労働力の確保
〈新規就農総合対策事業費補
助金〉

労働者と経営者の
マッチング活動を支
援します

認定農業者

〈新規就農総合対策事業
（再掲）〉
〈労働者として農業技術
を学べる研修の実施〉

農業技術をもった
労働者を確保します

○規模拡大の
ハウス確保支援
〈レンタルハウス整備事業（再掲）〉
・規模拡大促進区分

○農作業のマッチング
支援
〈ふるさと雇用再生農作業支
援体制構築事業〉

新規就農者

異業種参入

○新分野進出支援
・支援制度の説明
・事例の紹介

○個別相談対応（随時）
・経営計画の作成支援

○基礎研修及び実践研修
（「アグリ体験塾」の研修で
農家体験研修を実施）
〈新規就農総合対策事業農家
等謝金（再掲）〉

受入農家等への支援を実
施します
（月額5万円の報償費）

○円滑な参入に向けた
支援
・担い手協議会による
地元調整支援

○農地等の情報提供
〈ふるさと雇用再生担い手支
援総合情報提供事業（再掲）〉

農地や空きハウスの情報を収
集・ストックし、ホームペー
ジなどにより提供します

○資金確保
〈農業近代化資金等融資事業
（低利子）〉

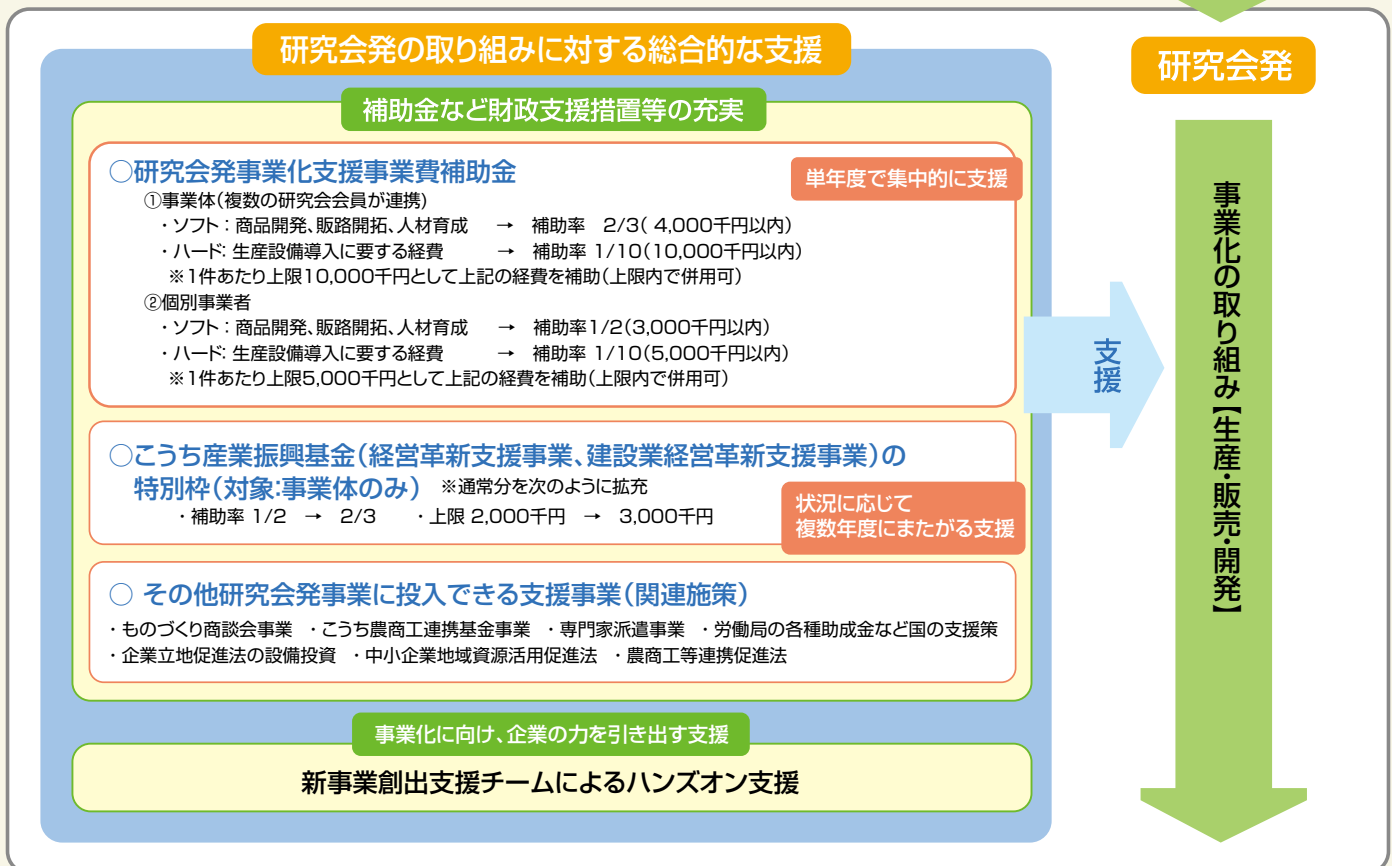
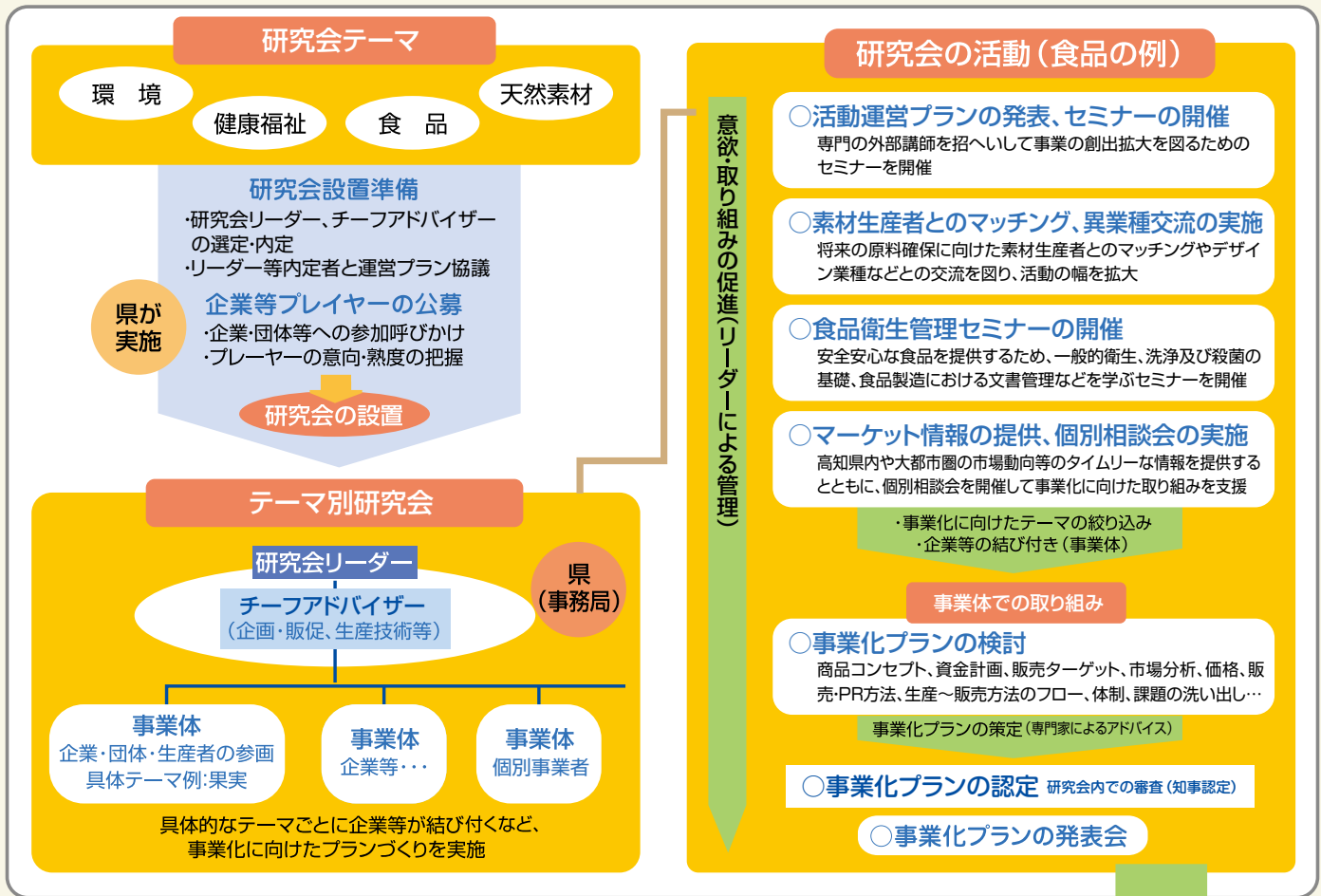
○初期投資の軽減
・ハウス確保支援
〈レンタルハウス整備事業（再掲）〉

○法人設立準備の支援
・事例調査や関係者の
合意形成を支援

J A 出資型法人

成長分野育成支援事業

～テーマごとの研究会方式による企業支援の仕組み～



産業振興の取り組みへの主な支援メニュー

これから取り組みを始めた方

自分も何かできそうな気がする。その思いを具体化したい。

ビジネスのアイデアはあるけど、どうすればいいかわからない。

★「目指せ 弥太郎^{あきんど}！商人塾」に参加してみませんか？

ビジネスの基礎知識の習得から、具体的なプラン・商品に関して個別相談による具体的なアドバイスが受けられます。

⇒ 計画推進課 (☎ 088-823-9742)

★農業人材育成創造事業の研修に参加してみませんか？

地域の食や環境などの資源を生かした農業・農村の活性化に向けて、成功事例の講演会や先進地の事例調査・交流、活性化計画の作成等の研修を実施し、自ら企画・提案（創造）し行動できる農業者の育成を目指します。

⇒ 環境農業推進課 (☎ 088-821-4532)

いろんなビジネスチャンスがあります！

更なるチャンス、更なる事業拡大を求めている方

売り出している商品がある。もっと売り先を増やしたい。

地産地消

県内で

★県内外の見本市・商談会へ出展してみませんか？

⇒ 地産地消・外商課 (☎ 088-823-9753)

★全国水準の商品に磨き上げてみませんか？

地産外商に向けた生産管理の高度化や適正な食品表示、新たな加工品づくりに取り組まれる事業者の皆さんにアドバイスを行います。

⇒ 地産地消・外商課 (☎ 088-823-9704)

地産外商

県外で

★首都圏新アンテナショップ、インターネット等を活用してテストマーケティングをしてみませんか？

こうちまるごとネット URL <http://www.kochi-marugoto.com/index.html>

⇒ 地産地消・外商課 (☎ 088-823-9738)

海外で

★海外輸出入のコーディネーターの支援を受けてみませんか？

⇒ 地産地消・外商課 (☎ 088-823-9752)

温めてきた商品アイデアやプランがある。早急に事業化したい。

★企業研究会に参加してみませんか？

今後の成長が期待される食品・天然素材・環境・健康福祉の分野における事業者間のマッチングや事業化プランの策定を行います。

⇒ 工業振興課 (☎ 088-823-9691)

ビジネスのパートナーを探したい。

★製造業ポータルサイトを利用してみませんか？

加工工程や機器の受発注など県内事業者間の取引に向けた事業者の技術、設備情報の収集・提供を行っています。URL <http://www.kochi-seizou.jp/>

⇒ 工業振興課 (☎ 088-823-9720)

更に人的・資金的にサポート!

★産業振興推進 アドバイザー制度

産業振興計画に基づく、地域アクションプランに位置付けられた、または位置付けを目指す取り組みについて、各地域のニーズや課題等に応じた外部アドバイザーの派遣等を行い、組織づくりや、商品企画、生産、流通、販売までの指導、助言を行い、課題解決につなげます。

⇒ 計画推進課
(☎ 088-823-9742)

★高知県産業振興推進 総合支援事業費補助金 (ステップアップ事業)

地域アクションプランの位置づけを目指すとする、地域の思いやアイデアを具体化するための初期段階の取り組み(市場調査や試作品づくり等のソフト事業を中心)について、一定の要件を満たす場合は、現段階で位置付けがなくても支援します。

⇒ 計画推進課
(☎ 088-823-9333)

★高知県産業振興推進 総合支援事業費補助金 (一般事業・特別承認事業)

商品の企画・開発、加工、販路拡大等、生産段階から販売段階までの取り組み、観光資源を活かした交流人口の拡大の取り組み等を総合的に支援するため、下記のような取り組みを支援します。

- 市場調査
- 商品・技術開発
- 販路開拓・販売促進
- 観光交流促進
- 施設・設備等整備 など

⇒ 計画推進課
(☎ 088-823-9333)

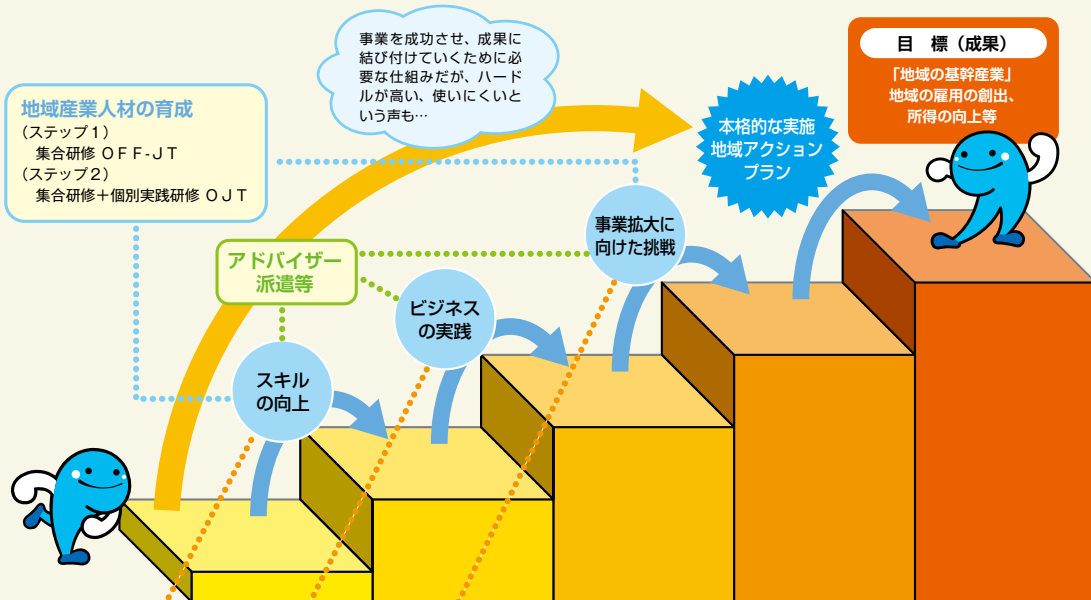
本格的な設備投資を行う場合は

★地産外商商品ブラッシュアップ支援事業費補助金

首都圏新アンテナショップでテストマーケティングを行った商品の改良に補助します。⇒ 地産地消・外商課 (☎ 088-823-9753)

★研究会発事業化支援事業費補助金

複数の研究会会員が連携した事業者や個別事業者に対して、ソフト(商品開発、販路開拓、人材育成)、ハード(生産設備導入)の経費に補助します。⇒ 工業振興課 (☎ 088-823-9691)



ステップアップへの「踏み台」ができました

【ステップアップ事業】

- 地域アクションプランへの位置付けを目指すために、地域産業人材育成事業等を受講し、スキルを身につけた事業者の取り組みを支援
- 地域アクションプランに位置付けられた取り組み又はこれに準ずる取り組みであって、事業等の立ち上げ段階や試行段階にある取り組みを支援
- ◆補助率：1/2 以内
- ◆補助限度額：1,000 千円 (ソフト事業)
- ◆補助先：事業実施主体への直接補助も可

事業の性格、段階に応じた柔軟な支援を行います

H22 から
拡充

+

【事業区分：一般事業(通常分、特別分)・特別承認事業】

- ◆補助対象事業 地域アクションプランなど県産業振興計画に位置付けられた取り組みで、本県の産業振興に資する取り組み
- ◆補助率：原則として、1/2 以内
(ただし、地域への経済波及効果が高いと認められた取り組みは、2/3 以内)
- 他の事業(国・県)への継ぎ足し補助の実施→ 最大 2/3 まで嵩上げ
- 企業のハード整備事業も対象(1/2 以内)
- ◆補助限度額：1 事業あたり 50,000 千円(ソフト・ハード事業)
- ◆対象事業者：市町村等、地域団体、企業等(含む個人事業者)、任意団体
- ◆補助先：原則として、市町村等(間接補助)
- ◆要件：地域アクションプランへの位置付け など

H21 から
実施

アイデアを形にしましょう!

県内7ブロックにある地域本部が
ワンストップで支援します!



案内所
INFORMATION

地域の産業に関することなら
何でもどうぞ!

支援体制

地域資源活用 共有会議

- ・生産者
- ・商工業者
- ・観光関係者
- ・市町村 など

市町村等

地域団体
任意団体

企業等

生産者

ワンストップ
支援窓口

産業推進地域本部

地域産業振興監

地域支援企画員

出先機関 (農業・林業・漁業)

本庁関係課 (商工・観光)

取組内容の検討、
熟度を高める支援

地域アクションプラン
の取り組みについては、
実行支援チームで
サポート

これらの事業でサポートします

産業振興推進総合支援事業費補助金(総合補助金)

- ・予算額：12.5 億円
- 一般事業等
 - ・補助対象事業：ハード・ソフトとも対象（企業のハード事業も対象）
 - ・補助率：原則 1/2 以内（地域への経済波及効果の高い事業は 2/3 以内）。国や県の他の事業への継ぎ足し補助の実施
 - ・補助限度額：5,000 万円
- ステップアップ事業
 - ・補助対象事業：
 - ①県が指定する人材育成研修により、スキルを身につけて取り組む事業
 - ②地域アクションプランまたはそれに準ずる取り組みのうち、立ち上げ段階や試行段階の取り組み
 - ・補助率：1/2 以内
 - ・補助限度額：上限 100 万円 下限 10 万円

産業振興推進アドバイザー事業

商品企画や販売などに関する専門的な助言

・予算額：3,620 万円

商品づくりから
販売までトータルに支援

成長分野育成支援事業

食品・天然素材・環境・健康福祉をテーマに企業や専門家等で構成する研究会を設置し、事業化への取り組みを重点的に支援

・予算額：1 億 2,850 万円

各種人材育成事業

- ・ビジネスの基礎から実践までの一貫した研修（目指せ!弥太郎 商人(あきんど)塾）
- ・製造技術や品質管理の研修 など

地産外商商品ブラッシュアップ支援事業費補助金

- ・対象事業：首都圏新アンテナショップでテストマーケティングを行った商品の改良
- ・補助率：1/2 以内
- ・補助限度額：100 万円(ソフト事業)
- ・予算額：2,500 万円

その他各分野の支援事業

安芸地域本部	安芸市矢ノ丸 1-4-36 安芸総合庁舎 2F	TEL 0887-34-1270 FAX 0887-34-1271
物部川地域本部	香美市土佐山田町加茂 777 香美農林合同庁舎 1F	TEL 0887-57-0015 FAX 0887-57-0016
高知市地域本部	高知市布師田 3992-3 工業技術センター 5F	TEL 088-826-5037 FAX 088-826-5038
嶺北地域本部	長岡郡本山町本山 946-6 中央東土木事務所本山事務所 1F	TEL 0887-70-1015 FAX 0887-70-1016
仁淀川地域本部	土佐市高岡町乙 3229 土佐合同庁舎 1F	TEL 088-852-7256 FAX 088-852-7257
高幡地域本部	須崎市西古市町 1-24 須崎総合庁舎 3F	TEL 0889-40-0205 FAX 0889-40-0206
幡多地域本部	四万十市中村山手通 19 幡多総合庁舎 3F	TEL 0880-35-8616 FAX 0880-35-8617

みんなが主役 高知の元気発進プロジェクト ～変わろう・変えよう・産業と暮らし～

高知県産業振興推進部 〒780-8570 高知市丸ノ内1丁目2-20

高知県産業振興計画ver.2 PR版
平成22年5月発行

計画推進課

TEL:088-823-9333 FAX:088-823-9255
E-mail:120801@ken.pref.kochi.lg.jp

地産地消・外商課

TEL:088-823-9753 FAX:088-823-9262
E-mail:120901@ken.pref.kochi.lg.jp

地域づくり支援課

TEL:088-823-9602 FAX:088-823-9258
E-mail:120301@ken.pref.kochi.lg.jp

一般財団法人 高知県地産外商公社

TEL:088-855-4330
FAX:088-823-9262 (H22.7月以降)

財団法人 高知県産業振興センター

〒781-5101 高知市布師田3992-2
TEL:088-845-6600 FAX:088-846-2556
E-mail:info@joho-kochi.or.jp